

学位授与方針と各科目の関連(経済学部経済学科)			ディプロマ・ポリシー											備考		
経済学部経済学科ディプロマ・ポリシー			知識・理解		技能		思考・判断・表現				関心・意欲・態度					
経済学部経済学科は、教育研究上の目的のもと、次に掲げるすべての能力(4領域14項目の能力)を備え、所定の単位を修得した学生に学位を授与する。			1	2-3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		13	14
<p><知識・理解></p> <p>1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養)</p> <p>2. 経済学の基礎的な内容、方法、及び経済の仕組みについて理解している。(専門基礎に関する知識・理解)</p> <p>3. 選択したコース(産業経済・公共経済・情報経済・国際経済)ごとの専門知識及び方法について理解している。(専門領域に関する知識・理解)</p> <p>4. 本学が立地する「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解)</p> <p><技能></p> <p>5. 経済学の基礎及び専門領域に関する知識等を活用することにより、問題を発見し、それを解決するための方法を適切に選択することができる。(問題発見・解決力)</p> <p>6. 国際社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(国際協働力)</p> <p><思考・判断・表現></p> <p>7. 他者がもつ社会的・文化的背景を理解したうえで、自己を客体化して思考することができる。(多文化での共生)</p> <p>8. 倫理観と公平・公正の精神を持って、事象を判断することができる。(倫理観、公平・公正な判断)</p> <p>9. 経済学の専門知識・方法を活用し、経済的諸現象を論理的に分析し、客観的な見解を導くことができる。(経済学的思考・分析)</p> <p>10. 経済的諸問題についての分析や考察について、他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を論理的に説明し、発信することができる。(傾聴と発信)</p> <p><関心・意欲・態度></p> <p>11. 経済学的思考を基礎に、生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲)</p> <p>12. 経済学の知をもって、社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を有している。(社会参加への主体性)</p> <p>13. 経済学の豊富な知識と広い視野のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働)</p> <p>14. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)</p>			幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・解決力	国際協働力	多文化での共生	倫理観、公平・公正な判断	経済学的思考・分析	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性		チームワーク、他者との協働	建学の精神の実践、奉仕動機
科目区分	分野	時間割名	◎(当てはまる) ○(一部当てはまる)													
共通科目	キャリア	KGUキャリアデザイン入門経A	○		○	◎			◎		○	◎	◎	◎	◎	
共通科目	キャリア	KGUキャリアデザイン入門経C	○		○	◎			◎		○	◎	◎	◎	◎	
共通科目	キャリア	KGUキャリアデザイン基礎ⅠA	◎		○	◎		○			◎	◎	◎	◎	◎	
共通科目	キャリア	KGUキャリアデザイン基礎ⅠC	◎		○	◎		○			◎	◎	◎	◎	◎	
共通科目	キャリア	KGUキャリアデザイン基礎ⅠD	◎		○	◎		○			◎	◎	◎	◎	◎	
共通科目	キャリア	KGUキャリアデザイン基礎ⅡA	◎			○					◎	◎	◎	◎	○	
共通科目	キャリア	KGUキャリアデザイン基礎ⅡC	◎			○					◎	◎	◎	◎	○	
共通科目	キャリア	KGUキャリアデザイン基礎ⅡD	◎			○					◎	◎	◎	◎	○	
共通科目	キャリア	KGUキャリアデザイン応用Ⅰ	◎	○				○	◎			◎			○	
共通科目	キャリア	KGUインターンシップⅠ(事前指導)	○								◎	◎	◎	○		
共通科目	キャリア	KGUインターンシップⅡ(実習)	○								◎	◎	◎	○		
共通科目	キャリア	国際インターンシップ[国内]	○		◎		◎	◎	○						○	
共通科目	キャリア	海外インターンシップ	○		◎		◎	◎	○						○	
共通科目	キャリア	キャリアスキル[言語]Ⅰ経A	◎			◎				○	◎		○			
共通科目	キャリア	キャリアスキル[言語]Ⅰ営B	◎			◎				○	◎		○			
共通科目	キャリア	キャリアスキル[言語]Ⅰ経C	◎			◎				○	◎		○			
共通科目	キャリア	キャリアスキル[言語]Ⅰ営D	◎			◎				○	◎		○			
共通科目	キャリア	キャリアスキル[言語]Ⅰ経E	◎			◎				○	◎		○			
共通科目	キャリア	キャリアスキル[言語]Ⅱ	◎			◎				○	◎		○			
共通科目	キャリア	キャリアスキル[数学]Ⅰ経A	◎			◎				○	◎	○				
共通科目	キャリア	キャリアスキル[数学]Ⅰ営B	◎			◎				○	◎	○				
共通科目	キャリア	キャリアスキル[数学]Ⅰ経C	◎			◎				○	◎	○				
共通科目	キャリア	キャリアスキル[数学]Ⅰ営D	◎			◎				○	◎	○				
共通科目	キャリア	キャリアスキル[数学]Ⅰ経E	◎			◎				○	◎	○				
共通科目	キャリア	キャリアスキル[数学]Ⅱ	◎			◎				○	◎	○				

学位授与方針と各科目の関連(経済学部経済学科)			ディプロマ・ポリシー											備考	
経済学部経済学科ディプロマ・ポリシー			知識・理解		技能		思考・判断・表現				関心・意欲・態度				
科目区分	分野	時間割名	1	2-3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		13
<p>経済学部経済学科は、教育研究上の目的のもと、次に掲げるすべての能力(4領域14項目の能力)を備え、所定の単位を修得した学生に学位を授与する。</p> <p><知識・理解></p> <p>1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養)</p> <p>2. 経済学の基礎的な内容、方法、及び経済の仕組みについて理解している。(専門基礎に関する知識・理解)</p> <p>3. 選択したコース(産業経済・公共経済・情報経済・国際経済)ごとの専門知識及び方法について理解している。(専門領域に関する知識・理解)</p> <p>4. 本学が立地する「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解)</p> <p><技能></p> <p>5. 経済学の基礎及び専門領域に関する知識等を活用することにより、問題を発見し、それを解決するための方法を適切に選択することができる。(問題発見・解決力)</p> <p>6. 国際社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(国際協働力)</p> <p><思考・判断・表現></p> <p>7. 他者がもつ社会的・文化的背景を理解したうえで、自己を客体化して思考することができる。(多文化での共生)</p> <p>8. 倫理観と公平・公正の精神を持って、事象を判断することができる。(倫理観、公平・公正な判断)</p> <p>9. 経済学の専門知識・方法を活用し、経済的諸現象を論理的に分析し、客観的な見解を導くことができる。(経済学的思考・分析)</p> <p>10. 経済的諸問題についての分析や考察について、他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を論理的に説明し、発信することができる。(傾聴と発信)</p> <p><関心・意欲・態度></p> <p>11. 経済学的思考を基礎に、生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲)</p> <p>12. 経済学の知をもって、社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を有している。(社会参加への主体性)</p> <p>13. 経済学の豊富な知識と広い視野のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働)</p> <p>14. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)</p>			幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・解決力	国際協働力	多文化での共生	倫理観、公平・公正な判断	経済学的思考・分析	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性	チームワーク、他者との協働	建学の精神の実践、奉仕動機
			◎(当てはまる) ○(一部当てはまる)												
共通科目	総合基礎	KGUかながわ学(スポーツ)	○		◎	○						○	○		
共通科目	総合基礎	KGUかながわ学(健康)	○				○	○	○	○	○		◎	○	
共通科目	総合基礎	KGUかながわ学(地域安全)	○	○	◎	○		○				○	○	○	○
共通科目	総合基礎	KGUかながわ学(行政)										○	○	◎	○
共通科目	総合基礎	KGUかながわ学(経済)										○		◎	○
共通科目	総合基礎	KGUかながわ学(政治)										○		◎	○
共通科目	総合基礎	KGUかながわ学(歴史・文化)	○				○	○	○	○	○		◎	○	
共通科目	総合基礎	KGUかながわ学(自然)	○		◎			○							
共通科目	総合基礎	KGUかながわ学(地域づくり)	○	○	◎	○		○				○	○	○	○
共通科目	総合基礎	KGUかながわ学(コミュニティ)										○	○	◎	○
共通科目	総合基礎	人権論A	◎	○			◎	○	◎			○			
共通科目	総合基礎	人権論B	◎	○			◎	○	◎			○			
共通科目	総合基礎	人権論C	◎	○			◎	○	◎			○			
共通科目	総合基礎	人権論D	◎	○			◎	○	◎			○			
共通科目	総合基礎	現代史A	◎	○				○	◎			○	◎		
共通科目	総合基礎	現代史B	◎	○				○	◎			○	◎		
共通科目	総合基礎	現代史C	◎	○				○	◎			○	◎		
共通科目	総合基礎	現代史D	◎	○				○	◎			○	◎		
共通科目	総合基礎	倫理学A	○				◎	◎	◎		○		○		
共通科目	総合基礎	倫理学B	○				◎	◎	◎		○		○		
共通科目	総合基礎	キリスト教学A	◎					◎	◎						◎
共通科目	総合基礎	キリスト教学B	◎					◎	◎						◎
共通科目	総合基礎	キリスト教学C	◎					◎	◎						◎
共通科目	総合基礎	メンタルヘルス論A	◎				◎		○		◎		○	○	
共通科目	総合基礎	メンタルヘルス論B	◎				◎		○		◎		○	○	
共通科目	総合基礎	メンタルヘルス論C	◎				◎		○		◎		○	○	

学位授与方針と各科目の関連(経済学部経済学科)			ディプロマ・ポリシー											備考	
経済学部経済学科ディプロマ・ポリシー			知識・理解		技能		思考・判断・表現				関心・意欲・態度				
科目区分	分野	時間割名	1	2-3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		13
<p>経済学部経済学科は、教育研究上の目的のもと、次に掲げるすべての能力(4領域14項目の能力)を備え、所定の単位を修得した学生に学位を授与する。</p> <p><知識・理解></p> <p>1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養)</p> <p>2. 経済学の基礎的な内容、方法、及び経済の仕組みについて理解している。(専門基礎に関する知識・理解)</p> <p>3. 選択したコース(産業経済・公共経済・情報経済・国際経済)ごとの専門知識及び方法について理解している。(専門領域に関する知識・理解)</p> <p>4. 本学が立地する「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解)</p> <p><技能></p> <p>5. 経済学の基礎及び専門領域に関する知識等を活用することにより、問題を発見し、それを解決するための方法を適切に選択することができる。(問題発見・解決力)</p> <p>6. 国際社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(国際協働力)</p> <p><思考・判断・表現></p> <p>7. 他者がもつ社会的・文化的背景を理解したうえで、自己を客体化して思考することができる。(多文化での共生)</p> <p>8. 倫理観と公平・公正の精神を持って、事象を判断することができる。(倫理観、公平・公正な判断)</p> <p>9. 経済学の専門知識・方法を活用し、経済的諸現象を論理的に分析し、客観的な見解を導くことができる。(経済学的思考・分析)</p> <p>10. 経済的諸問題についての分析や考察について、他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を論理的に説明し、発信することができる。(傾聴と発信)</p> <p><関心・意欲・態度></p> <p>11. 経済学的思考を基礎に、生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲)</p> <p>12. 経済学の知をもって、社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を有している。(社会参加への主体性)</p> <p>13. 経済学の豊富な知識と広い視野のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働)</p> <p>14. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)</p>			幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・解決力	国際協働力	多文化での共生	倫理観、公平・公正な判断	経済学的思考・分析	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性	チームワーク、他者との協働	建学の精神の実践、奉仕動機
			◎(当てはまる) ○(一部当てはまる)												
共通科目	総合基礎	健康スポーツ I 済DE再 バレーボール	◎						○			○		◎	
共通科目	総合基礎	健康スポーツ I 済DE再 バスケットボール	◎						○			○		◎	
共通科目	総合基礎	健康スポーツ I 済FGH バレーボール	◎						○			○		◎	
共通科目	総合基礎	健康スポーツ I 済FGH フットサル	◎						○			○		◎	
共通科目	総合基礎	健康スポーツ I 済FGH バスケットボール	◎						○			○		◎	
共通科目	総合基礎	健康スポーツ I 済IJK テニス	◎						○			○		◎	
共通科目	総合基礎	健康スポーツ I 済IJK サッカー	◎						○			○		◎	
共通科目	総合基礎	健康スポーツ I 済IJK 卓球	◎						○			○		◎	
共通科目	総合基礎	健康スポーツ I 済LM再 バスケットボール	◎						○			○		◎	
共通科目	総合基礎	健康スポーツ I 済LM再 バレーボール	◎						○			○		◎	
共通科目	総合基礎	健康スポーツ I 済LM再 サッカー	◎						○			○		◎	
共通科目	総合基礎	健康スポーツ I 済GH再 フットサル	◎						○			○		◎	
共通科目	総合基礎	健康スポーツ I 済GH再 卓球	◎						○			○		◎	
共通科目	総合基礎	健康スポーツ I 済GH再 バドミントン	◎						○			○		◎	
共通科目	総合基礎	健康スポーツ I 済IM再 バスケットボール	◎						○			○		◎	
共通科目	総合基礎	健康スポーツ I 済IM再 フットサル	◎						○			○		◎	
共通科目	総合基礎	健康スポーツ I 済IM再 バレーボール	◎						○			○		◎	
共通科目	総合基礎	健康スポーツ I 済・済再 サッカー	◎						○			○		◎	
共通科目	総合基礎	健康スポーツ I 運動処方クラス	◎						○		○	○		◎	
共通科目	総合基礎	健康スポーツ I 運動処方クラス	◎						○		○	○		◎	
共通科目	総合基礎	健康スポーツ II 済ABC バスケットボール	◎						○			○		◎	
共通科目	総合基礎	健康スポーツ II 済ABC フットボール	◎						○			○		◎	
共通科目	総合基礎	健康スポーツ II 済ABC バレーボール	◎						○			○		◎	
共通科目	総合基礎	健康スポーツ II 済DE再 バスケットボール	◎						○			○		◎	
共通科目	総合基礎	健康スポーツ II 済DE再 バドミントン	◎						○			○		◎	
共通科目	総合基礎	健康スポーツ II 済DE再 卓球 他	◎						○			○		◎	

学位授与方針と各科目の関連(経済学部経済学科)			ディプロマ・ポリシー											備考	
経済学部経済学科ディプロマ・ポリシー			知識・理解		技能		思考・判断・表現				関心・意欲・態度				
科目区分	分野	時間割名	1	2-3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		13
<p>経済学部経済学科は、教育研究上の目的のもと、次に掲げるすべての能力(4領域14項目の能力)を備え、所定の単位を修得した学生に学位を授与する。</p> <p><知識・理解></p> <p>1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養)</p> <p>2. 経済学の基礎的な内容、方法、及び経済の仕組みについて理解している。(専門基礎に関する知識・理解)</p> <p>3. 選択したコース(産業経済・公共経済・情報経済・国際経済)ごとの専門知識及び方法について理解している。(専門領域に関する知識・理解)</p> <p>4. 本学が立地する「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解)</p> <p><技能></p> <p>5. 経済学の基礎及び専門領域に関する知識等を活用することにより、問題を発見し、それを解決するための方法を適切に選択することができる。(問題発見・解決力)</p> <p>6. 国際社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(国際協働力)</p> <p><思考・判断・表現></p> <p>7. 他者がもつ社会的・文化的背景を理解したうえで、自己を客体化して思考することができる。(多文化での共生)</p> <p>8. 倫理観と公平・公正の精神を持って、事象を判断することができる。(倫理観、公平・公正な判断)</p> <p>9. 経済学の専門知識・方法を活用し、経済的諸現象を論理的に分析し、客観的な見解を導くことができる。(経済学的思考・分析)</p> <p>10. 経済的諸問題についての分析や考察について、他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を論理的に説明し、発信することができる。(傾聴と発信)</p> <p><関心・意欲・態度></p> <p>11. 経済学的思考を基礎に、生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲)</p> <p>12. 経済学の知をもって、社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を有している。(社会参加への主体性)</p> <p>13. 経済学の豊富な知識と広い視野のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働)</p> <p>14. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)</p>			幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・解決力	国際協働力	多文化での共生	倫理観、公平・公正な判断	経済学的思考・分析	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性	チームワーク、他者との協働	建学の精神の実践、奉仕動機
			◎(当てはまる) ○(一部当てはまる)												
共通科目	総合基礎	健康スポーツⅡ 済FGH バドミントン	◎						○			○		◎	
共通科目	総合基礎	健康スポーツⅡ 済FGH サッカー	◎						○			○		◎	
共通科目	総合基礎	健康スポーツⅡ 済FGH 卓球	◎						○			○		◎	
共通科目	総合基礎	健康スポーツⅡ 済IJK テニス	◎						○			○		◎	
共通科目	総合基礎	健康スポーツⅡ 済IJK サッカー	◎						○			○		◎	
共通科目	総合基礎	健康スポーツⅡ 済IJK バドミントン	◎						○			○		◎	
共通科目	総合基礎	健康スポーツⅡ 済LM再 卓球	◎						○			○		◎	
共通科目	総合基礎	健康スポーツⅡ 済LM再 バドミントン	◎						○			○		◎	
共通科目	総合基礎	健康スポーツⅡ 済LM再 サッカー	◎						○			○		◎	
共通科目	総合基礎	健康スポーツⅡ 済GH再 サッカー	◎						○			○		◎	
共通科目	総合基礎	健康スポーツⅡ 済GH再 卓球	◎						○			○		◎	
共通科目	総合基礎	健康スポーツⅡ 済GH再 バスケットボール	◎						○			○		◎	
共通科目	総合基礎	健康スポーツⅡ 済IM再 サッカー	◎						○			○		◎	
共通科目	総合基礎	健康スポーツⅡ 済IM再 卓球	◎						○			○		◎	
共通科目	総合基礎	健康スポーツⅡ 済IM再 バドミントン	◎						○			○		◎	
共通科目	総合基礎	健康スポーツⅡ 済・済再 サッカー	◎						○			○		◎	
共通科目	総合基礎	健康スポーツⅡ 運動処方クラス	◎						○		○	○		◎	
共通科目	総合基礎	健康スポーツⅡ 運動処方クラス	◎						○		○	○		◎	
共通科目	総合基礎	論理学	◎			◎		○			○	◎		○	
共通科目	総合基礎	物理学	◎			○				○		○			
共通科目	総合基礎	哲学A	○			◎		○	◎		○	◎			
共通科目	総合基礎	哲学B	○			◎		○	◎		○	◎			
共通科目	総合基礎	哲学C	○			◎		○	◎		○	◎			
共通科目	総合基礎	文学A	◎					◎				○			
共通科目	総合基礎	文学B	◎					◎				○			
共通科目	総合基礎	教育学	○			○		◎	○			◎			○

学位授与方針と各科目の関連(経済学部経済学科)			ディプロマ・ポリシー											備考	
経済学部経済学科ディプロマ・ポリシー			知識・理解		技能		思考・判断・表現				関心・意欲・態度				
科目区分	分野	時間割名	1	2-3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		13
<p>経済学部経済学科は、教育研究上の目的のもと、次に掲げるすべての能力(4領域14項目の能力)を備え、所定の単位を修得した学生に学位を授与する。</p> <p><知識・理解></p> <p>1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養)</p> <p>2. 経済学の基礎的な内容、方法、及び経済の仕組みについて理解している。(専門基礎に関する知識・理解)</p> <p>3. 選択したコース(産業経済・公共経済・情報経済・国際経済)ごとの専門知識及び方法について理解している。(専門領域に関する知識・理解)</p> <p>4. 本学が立地する「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解)</p> <p><技能></p> <p>5. 経済学の基礎及び専門領域に関する知識等を活用することにより、問題を発見し、それを解決するための方法を適切に選択することができる。(問題発見・解決力)</p> <p>6. 国際社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(国際協働力)</p> <p><思考・判断・表現></p> <p>7. 他者がもつ社会的・文化的背景を理解したうえで、自己を客体化して思考することができる。(多文化での共生)</p> <p>8. 倫理観と公平・公正の精神を持って、事象を判断することができる。(倫理観、公平・公正な判断)</p> <p>9. 経済学の専門知識・方法を活用し、経済的諸現象を論理的に分析し、客観的な見解を導くことができる。(経済学的思考・分析)</p> <p>10. 経済的諸問題についての分析や考察について、他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を論理的に説明し、発信することができる。(傾聴と発信)</p> <p><関心・意欲・態度></p> <p>11. 経済学的思考を基礎に、生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲)</p> <p>12. 経済学の知をもって、社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を有している。(社会参加への主体性)</p> <p>13. 経済学の豊富な知識と広い視野のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働)</p> <p>14. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)</p>			幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・解決力	国際協働力	多文化での共生	倫理観、公平・公正な判断	経済学的思考・分析	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性	チームワーク、他者との協働	建学の精神の実践、奉仕動機
			◎(当てはまる) ○(一部当てはまる)												
共通科目	総合基礎	社会学A	◎			◎		◎	○			○		○	
共通科目	総合基礎	社会学B	◎			◎		◎	○			○		○	
共通科目	総合基礎	政治学A	◎	○			○	◎	○				◎		
共通科目	総合基礎	政治学B	◎	○			○	◎	○				◎		
共通科目	総合基礎	歴史学A	◎		◎		○	◎	○			○			
共通科目	総合基礎	歴史学B	◎		◎		○	◎	○			○			
共通科目	総合基礎	総合講座[平和研究] I	○		○		◎	◎	○				◎		
共通科目	総合基礎	総合講座[平和研究] II	○		○		◎	◎	○				◎		
共通科目	総合基礎	仕事と人生経済	○			◎		○	◎				◎	○	
共通科目	総合基礎	仕事と人生経営A	○			◎		○	◎				◎	○	
共通科目	総合基礎	仕事と人生経営B	○			◎		○	◎				◎	○	
共通科目	総合基礎	連合寄付講座[働き方と労働組合]	○		◎				○	○		◎	◎		
共通科目	心身と社会	ジェンダー論A	○			◎		◎	◎				○	○	
共通科目	心身と社会	ジェンダー論B	○			◎		◎	◎				○	○	
共通科目	心身と社会	ジェンダー論C	○			◎		◎	◎				○	○	
共通科目	心身と社会	社会心理学A	◎			◎		◎	○			○		○	
共通科目	心身と社会	社会心理学B	◎			◎		◎	○			○		○	
共通科目	心身と社会	社会心理学C	◎			◎		◎	○			○		○	
共通科目	心身と社会	身体論	◎			◎		○	○			◎		○	
共通科目	心身と社会	性の健康学A	◎			◎		◎	○		○	○			
共通科目	心身と社会	性の健康学B	◎			◎		◎	○		○	○			
共通科目	心身と社会	心理学	◎			◎					○	○	◎	○	
共通科目	心身と社会	スポーツ論[スポーツ社会学]	◎					◎				○		○	○
共通科目	心身と社会	スポーツ論[スポーツ心理学]	◎					◎				○		○	○
共通科目	心身と社会	心身と社会[セクシュアリティ論]	◎			◎		◎	○		○		○		
共通科目	心身と社会	心身と社会[青少年カウンセリング論]	◎			◎			◎		○	○	○		

学位授与方針と各科目の関連(経済学部経済学科)			ディプロマ・ポリシー											備考	
経済学部経済学科ディプロマ・ポリシー			知識・理解		技能		思考・判断・表現				関心・意欲・態度				
科目区分	分野	時間割名	1	2-3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		13
<p>経済学部経済学科は、教育研究上の目的のもと、次に掲げるすべての能力(4領域14項目の能力)を備え、所定の単位を修得した学生に学位を授与する。</p> <p><知識・理解></p> <p>1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養)</p> <p>2. 経済学の基礎的な内容、方法、及び経済の仕組みについて理解している。(専門基礎に関する知識・理解)</p> <p>3. 選択したコース(産業経済・公共経済・情報経済・国際経済)ごとの専門知識及び方法について理解している。(専門領域に関する知識・理解)</p> <p>4. 本学が立地する「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解)</p> <p><技能></p> <p>5. 経済学の基礎及び専門領域に関する知識等を活用することにより、問題を発見し、それを解決するための方法を適切に選択することができる。(問題発見・解決力)</p> <p>6. 国際社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(国際協働力)</p> <p><思考・判断・表現></p> <p>7. 他者がもつ社会的・文化的背景を理解したうえで、自己を客体化して思考することができる。(多文化での共生)</p> <p>8. 倫理観と公平・公正の精神を持って、事象を判断することができる。(倫理観、公平・公正な判断)</p> <p>9. 経済学の専門知識・方法を活用し、経済的諸現象を論理的に分析し、客観的な見解を導くことができる。(経済学的思考・分析)</p> <p>10. 経済的諸問題についての分析や考察について、他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を論理的に説明し、発信することができる。(傾聴と発信)</p> <p><関心・意欲・態度></p> <p>11. 経済学的思考を基礎に、生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲)</p> <p>12. 経済学の知をもって、社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を有している。(社会参加への主体性)</p> <p>13. 経済学の豊富な知識と広い視野のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働)</p> <p>14. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)</p>			幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・解決力	国際協働力	多文化での共生	倫理観、公平・公正な判断	経済学的思考・分析	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性	チームワーク、他者との協働	建学の精神の実践、奉仕動機
			◎(当てはまる) ○(一部当てはまる)												
共通科目	心身と社会	健康スポーツⅢ済・営A フットサル	◎						○			○		◎	
共通科目	心身と社会	健康スポーツⅢ済・営B アーチERY	◎						○			○		◎	
共通科目	心身と社会	健康スポーツⅢ済・営C ハドミントン	◎						○			○		◎	
共通科目	心身と社会	健康スポーツⅢ済・営D 卓球	◎						○			○		◎	
共通科目	心身と社会	健康スポーツⅣ済・営A サッカー	◎						○			○		◎	
共通科目	心身と社会	健康スポーツⅣ済・営B ハドミントン	◎						○			○		◎	
共通科目	心身と社会	健康スポーツⅣ済・営C バスケットボール	◎						○			○		◎	
共通科目	心身と社会	健康スポーツⅣ済・営D テニス	◎						○			○		◎	
共通科目	メディアと文化	現代日本文化論A	◎					◎	○			○	○		
共通科目	メディアと文化	現代日本文化論B	◎					◎	○			○	○		
共通科目	メディアと文化	現代日本文化論C	◎					◎	○			○	○		
共通科目	メディアと文化	メディア論A	◎					◎	◎			○			○
共通科目	メディアと文化	メディア論B	◎					◎	◎			○			○
共通科目	メディアと文化	メディア論C	◎					◎	◎			○			○
共通科目	メディアと文化	コミュニケーション論	◎				○	◎	◎		○			○	
共通科目	メディアと文化	メディア・リテラシー論A	◎				○	◎	◎		○				○
共通科目	メディアと文化	メディア・リテラシー論B	◎				○	◎	◎		○				○
共通科目	メディアと文化	現代ジャーナリズム	◎					◎	◎		○	○	○		○
共通科目	メディアと文化	メディアと文化[文化の社会学]	◎				○	◎	◎					○	○
共通科目	メディアと文化	メディアと文化[音楽文化誌]	◎					◎	○			○			○
共通科目	メディアと文化	メディアと文化[メディアと文学]	◎						◎		◎	○			
共通科目	人間と環境	地理学A	○		◎	◎		◎	○						○
共通科目	人間と環境	地理学B	○		◎	◎		◎	○						○
共通科目	人間と環境	地理学C	○		◎	◎		◎	○						○
共通科目	人間と環境	地理学D	○		◎	◎		◎	○						○
共通科目	人間と環境	環境論A	◎		○	◎	○		○				◎		

学位授与方針と各科目の関連(経済学部経済学科)			ディプロマ・ポリシー											備考	
経済学部経済学科ディプロマ・ポリシー			知識・理解		技能		思考・判断・表現				関心・意欲・態度				
科目区分	分野	時間割名	1	2-3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		13
<p>経済学部経済学科は、教育研究上の目的のもと、次に掲げるすべての能力(4領域14項目の能力)を備え、所定の単位を修得した学生に学位を授与する。</p> <p><知識・理解></p> <p>1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養)</p> <p>2. 経済学の基礎的な内容、方法、及び経済の仕組みについて理解している。(専門基礎に関する知識・理解)</p> <p>3. 選択したコース(産業経済・公共経済・情報経済・国際経済)ごとの専門知識及び方法について理解している。(専門領域に関する知識・理解)</p> <p>4. 本学が立地する「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解)</p> <p><技能></p> <p>5. 経済学の基礎及び専門領域に関する知識等を活用することにより、問題を発見し、それを解決するための方法を適切に選択することができる。(問題発見・解決力)</p> <p>6. 国際社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(国際協働力)</p> <p><思考・判断・表現></p> <p>7. 他者がもつ社会的・文化的背景を理解したうえで、自己を客体化して思考することができる。(多文化での共生)</p> <p>8. 倫理観と公平・公正の精神を持って、事象を判断することができる。(倫理観、公平・公正な判断)</p> <p>9. 経済学の専門知識・方法を活用し、経済的諸現象を論理的に分析し、客観的な見解を導くことができる。(経済学的思考・分析)</p> <p>10. 経済的諸問題についての分析や考察について、他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を論理的に説明し、発信することができる。(傾聴と発信)</p> <p><関心・意欲・態度></p> <p>11. 経済学的思考を基礎に、生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲)</p> <p>12. 経済学の知をもって、社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を有している。(社会参加への主体性)</p> <p>13. 経済学の豊富な知識と広い視野のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働)</p> <p>14. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)</p>			幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・解決力	国際協働力	多文化での共生	倫理観、公平・公正な判断	経済学的思考・分析	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性	チームワーク、他者との協働	建学の精神の実践、奉仕動機
			◎(当てはまる) ○(一部当てはまる)												
共通科目	人間と環境	環境論B	◎		○	◎	○		○				◎		
共通科目	人間と環境	環境論C	◎		○	◎	○		○				◎		
共通科目	人間と環境	環境論D	◎		○	◎	○		○				◎		
共通科目	人間と環境	生物と環境	◎		○	◎		◎	○						○
共通科目	人間と環境	地球と環境	◎		○	◎	○				○		◎		
共通科目	人間と環境	人文地理学	◎	○	◎	○	○	◎							○
共通科目	人間と環境	公害論	◎		○	◎	○				○		◎		
共通科目	人間と環境	環境フィールドワーク入門	◎		◎	◎			○					○	○
共通科目	人間と環境	人間と環境[エネルギー論]	◎			◎				◎	○	○			○
共通科目	人間と環境	人間と環境[農村と都市]	◎		○	◎		◎			○				○
共通科目	人間と環境	人間と環境[災害と都市]	◎		◎	◎		○	○						○
共通科目	国際化と異文化理解	国際関係論A	◎	○	○		◎	◎					○		
共通科目	国際化と異文化理解	国際関係論B	◎	○	○		◎	◎					○		
共通科目	国際化と異文化理解	国際関係論C	◎	○	○		◎	◎					○		
共通科目	国際化と異文化理解	異文化間コミュニケーション論A	○			◎	◎	◎	○		○	○			
共通科目	国際化と異文化理解	異文化間コミュニケーション論B	○			◎	◎	◎	○		○	○			
共通科目	国際化と異文化理解	異文化間コミュニケーション論C	○			◎	◎	◎	○		○	○			
共通科目	国際化と異文化理解	アジア地域研究	◎		○		◎	◎	○			○			
共通科目	国際化と異文化理解	文化人類学	◎			○		◎	○			○		◎	
共通科目	国際化と異文化理解	エスニシティ論	◎	○			○	◎	◎			○			
共通科目	国際化と異文化理解	国際化と異文化理解[イスラム社会]	○				◎	◎	○			○	◎		
共通科目	国際化と異文化理解	国際化と異文化理解[NGO論]	○				◎	◎	○			○	◎		
共通科目	国際化と異文化理解	国際化と異文化理解[グローバル化を問う]	○				◎	◎	○			○	◎		
共通科目	国際化と異文化理解	海外ボランティア論	◎				◎	○	◎		○	○	◎		
共通科目	選択必修英語	英会話 I 経A	◎				◎	◎			○	○		○	
共通科目	選択必修英語	英会話 I 経B	◎				◎	◎			○	○		○	

学位授与方針と各科目の関連(経済学部経済学科)			ディプロマ・ポリシー											備考	
経済学部経済学科ディプロマ・ポリシー			知識・理解		技能		思考・判断・表現				関心・意欲・態度				
科目区分	分野	時間割名	1	2-3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		13
<p>経済学部経済学科は、教育研究上の目的のもと、次に掲げるすべての能力(4領域14項目の能力)を備え、所定の単位を修得した学生に学位を授与する。</p> <p><知識・理解></p> <p>1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養)</p> <p>2. 経済学の基礎的な内容、方法、及び経済の仕組みについて理解している。(専門基礎に関する知識・理解)</p> <p>3. 選択したコース(産業経済・公共経済・情報経済・国際経済)ごとの専門知識及び方法について理解している。(専門領域に関する知識・理解)</p> <p>4. 本学が立地する「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解)</p> <p><技能></p> <p>5. 経済学の基礎及び専門領域に関する知識等を活用することにより、問題を発見し、それを解決するための方法を適切に選択することができる。(問題発見・解決力)</p> <p>6. 国際社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(国際協働力)</p> <p><思考・判断・表現></p> <p>7. 他者をもつ社会的・文化的背景を理解したうえで、自己を客体化して思考することができる。(多文化での共生)</p> <p>8. 倫理観と公平・公正の精神を持って、事象を判断することができる。(倫理観、公平・公正な判断)</p> <p>9. 経済学の専門知識・方法を活用し、経済的諸現象を論理的に分析し、客観的な見解を導くことができる。(経済学的思考・分析)</p> <p>10. 経済的諸問題についての分析や考察について、他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を論理的に説明し、発信することができる。(傾聴と発信)</p> <p><関心・意欲・態度></p> <p>11. 経済学的思考を基礎に、生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲)</p> <p>12. 経済学の知をもって、社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を有している。(社会参加への主体性)</p> <p>13. 経済学の豊富な知識と広い視野のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働)</p> <p>14. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)</p>			幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・解決力	国際協働力	多文化での共生	倫理観、公平・公正な判断	経済学的思考・分析	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性	チームワーク、他者との協働	建学の精神の実践、奉仕動機
			◎(当てはまる) ○(一部当てはまる)												
共通科目	選択必修英語	英会話 I 経C	◎				◎	◎				○	○	○	
共通科目	選択必修英語	英会話 I 経D	◎				◎	◎				○	○	○	
共通科目	選択必修英語	英会話 I 経E	◎				◎	◎				○	○	○	
共通科目	選択必修英語	英会話 I 経F	◎				◎	◎				○	○	○	
共通科目	選択必修英語	英会話 I 経G	◎				◎	◎				○	○	○	
共通科目	選択必修英語	英会話 I 経H	◎				◎	◎				○	○	○	
共通科目	選択必修英語	英会話 I 経I	◎				◎	◎				○	○	○	
共通科目	選択必修英語	英会話 I 経J	◎				◎	◎				○	○	○	
共通科目	選択必修英語	英会話 I 経K	◎				◎	◎				○	○	○	
共通科目	選択必修英語	英会話 I 経L	◎				◎	◎				○	○	○	
共通科目	選択必修英語	英会話(上級) I 経M	◎				◎	◎				○	○	○	
共通科目	選択必修英語	英会話 II 経A	◎				◎	◎				○	○	○	
共通科目	選択必修英語	英会話 II 経B	◎				◎	◎				○	○	○	
共通科目	選択必修英語	英会話 II 経C	◎				◎	◎				○	○	○	
共通科目	選択必修英語	英会話 II 経D	◎				◎	◎				○	○	○	
共通科目	選択必修英語	英会話 II 経E	◎				◎	◎				○	○	○	
共通科目	選択必修英語	英会話 II 経F	◎				◎	◎				○	○	○	
共通科目	選択必修英語	英会話 II 経G	◎				◎	◎				○	○	○	
共通科目	選択必修英語	英会話 II 経H	◎				◎	◎				○	○	○	
共通科目	選択必修英語	英会話 II 経I	◎				◎	◎				○	○	○	
共通科目	選択必修英語	英会話 II 経J	◎				◎	◎				○	○	○	
共通科目	選択必修英語	英会話 II 経K	◎				◎	◎				○	○	○	
共通科目	選択必修英語	英会話 II 経L	◎				◎	◎				○	○	○	
共通科目	選択必修英語	英会話(上級) II 経M	◎				◎	◎				○	○	○	
共通科目	選択必修英語	フレッシュヤーズ・イングリッシュ I 経A	○				◎	○				○	○		
共通科目	選択必修英語	フレッシュヤーズ・イングリッシュ I 経B	○				◎	○				○	○		

学位授与方針と各科目の関連(経済学部経済学科)			ディプロマ・ポリシー											備考	
経済学部経済学科ディプロマ・ポリシー			知識・理解		技能		思考・判断・表現				関心・意欲・態度				
科目区分	分野	時間割名	1	2-3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		13
<p>経済学部経済学科は、教育研究上の目的のもと、次に掲げるすべての能力(4領域14項目の能力)を備え、所定の単位を修得した学生に学位を授与する。</p> <p><知識・理解></p> <p>1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養)</p> <p>2. 経済学の基礎的な内容、方法、及び経済の仕組みについて理解している。(専門基礎に関する知識・理解)</p> <p>3. 選択したコース(産業経済・公共経済・情報経済・国際経済)ごとの専門知識及び方法について理解している。(専門領域に関する知識・理解)</p> <p>4. 本学が立地する「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解)</p> <p><技能></p> <p>5. 経済学の基礎及び専門領域に関する知識等を活用することにより、問題を発見し、それを解決するための方法を適切に選択することができる。(問題発見・解決力)</p> <p>6. 国際社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(国際協働力)</p> <p><思考・判断・表現></p> <p>7. 他者がもつ社会的・文化的背景を理解したうえで、自己を客体化して思考することができる。(多文化での共生)</p> <p>8. 倫理観と公平・公正の精神を持って、事象を判断することができる。(倫理観、公平・公正な判断)</p> <p>9. 経済学の専門知識・方法を活用し、経済的諸現象を論理的に分析し、客観的な見解を導くことができる。(経済学的思考・分析)</p> <p>10. 経済的諸問題についての分析や考察について、他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を論理的に説明し、発信することができる。(傾聴と発信)</p> <p><関心・意欲・態度></p> <p>11. 経済学的思考を基礎に、生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲)</p> <p>12. 経済学の知をもって、社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を有している。(社会参加への主体性)</p> <p>13. 経済学の豊富な知識と広い視野のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働)</p> <p>14. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)</p>			幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・解決力	国際協働力	多文化での共生	倫理観、公平・公正な判断	経済学的思考・分析	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性	チームワーク、他者との協働	建学の精神の実践、奉仕動機
			◎(当てはまる) ○(一部当てはまる)												
共通科目	選択必修英語	フレッシュヤーズ・イングリッシュ I 経C	○			◎		○			○	○			
共通科目	選択必修英語	フレッシュヤーズ・イングリッシュ I 経D	○			◎		○			○	○			
共通科目	選択必修英語	フレッシュヤーズ・イングリッシュ I 経E	○			◎		○			○	○			
共通科目	選択必修英語	フレッシュヤーズ・イングリッシュ I 経F	○			◎		○			○	○			
共通科目	選択必修英語	フレッシュヤーズ・イングリッシュ I 経G	○			◎		○			○	○			
共通科目	選択必修英語	フレッシュヤーズ・イングリッシュ I 経H	○			◎		○			○	○			
共通科目	選択必修英語	フレッシュヤーズ・イングリッシュ I 経I	○			◎		○			○	○			
共通科目	選択必修英語	フレッシュヤーズ・イングリッシュ I 経J	○			◎		○			○	○			
共通科目	選択必修英語	フレッシュヤーズ・イングリッシュ I 経K	○			◎		○			○	○			
共通科目	選択必修英語	フレッシュヤーズ・イングリッシュ I 経L	○			◎		○			○	○			
共通科目	選択必修英語	フレッシュヤーズ・イングリッシュ(上級) I 経M	○			◎		○			○	○			
共通科目	選択必修英語	フレッシュヤーズ・イングリッシュ II 経A	○			◎		○			○	○			
共通科目	選択必修英語	フレッシュヤーズ・イングリッシュ II 経B	○			◎		○			○	○			
共通科目	選択必修英語	フレッシュヤーズ・イングリッシュ II 経C	○			◎		○			○	○			
共通科目	選択必修英語	フレッシュヤーズ・イングリッシュ II 経D	○			◎		○			○	○			
共通科目	選択必修英語	フレッシュヤーズ・イングリッシュ II 経E	○			◎		○			○	○			
共通科目	選択必修英語	フレッシュヤーズ・イングリッシュ II 経F	○			◎		○			○	○			
共通科目	選択必修英語	フレッシュヤーズ・イングリッシュ II 経G	○			◎		○			○	○			
共通科目	選択必修英語	フレッシュヤーズ・イングリッシュ II 経H	○			◎		○			○	○			
共通科目	選択必修英語	フレッシュヤーズ・イングリッシュ II 経I	○			◎		○			○	○			
共通科目	選択必修英語	フレッシュヤーズ・イングリッシュ II 経J	○			◎		○			○	○			
共通科目	選択必修英語	フレッシュヤーズ・イングリッシュ II 経K	○			◎		○			○	○			
共通科目	選択必修英語	フレッシュヤーズ・イングリッシュ II 経L	○			◎		○			○	○			
共通科目	選択必修英語	フレッシュヤーズ・イングリッシュ(上級) II 経M	○			◎		○			○	○			
共通科目	選択必修英語	ESP I	○	○		○	◎	○		○	◎	○			
共通科目	選択必修英語	English Communication I	◎				◎	◎			○	○		○	

学位授与方針と各科目の関連(経済学部経済学科)			ディプロマ・ポリシー											備考		
経済学部経済学科ディプロマ・ポリシー 経済学部経済学科は、教育研究上の目的のもと、次に掲げるすべての能力(4領域14項目の能力)を備え、所定の単位を修得した学生に学位を授与する。 <知識・理解> 1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養) 2. 経済学の基礎的な内容、方法、及び経済の仕組みについて理解している。(専門基礎に関する知識・理解) 3. 選択したコース(産業経済・公共経済・情報経済・国際経済)ごとの専門知識及び方法について理解している。(専門領域に関する知識・理解) 4. 本学が立地する「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解) <技能> 5. 経済学の基礎及び専門領域に関する知識等を活用することにより、問題を発見し、それを解決するための方法を適切に選択することができる。(問題発見・解決力) 6. 国際社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(国際協働力) <思考・判断・表現> 7. 他者がもつ社会的・文化的背景を理解したうえで、自己を客体化して思考することができる。(多文化での共生) 8. 倫理観と公平・公正の精神を持って、事象を判断することができる。(倫理観、公平・公正な判断) 9. 経済学の専門知識・方法を活用し、経済的諸現象を論理的に分析し、客観的な見解を導くことができる。(経済学的思考・分析) 10. 経済的諸問題についての分析や考察について、他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を論理的に説明し、発信することができる。(傾聴と発信) <関心・意欲・態度> 11. 経済学的思考を基礎に、生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲) 12. 経済学の知をもって、社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を有している。(社会参加への主体性) 13. 経済学の豊富な知識と広い視野のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働) 14. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)			知識・理解		技能		思考・判断・表現				関心・意欲・態度					
			1	2-3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		13	14
			幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・解決力	国際協働力	多文化での共生	倫理観、公平・公正な判断	経済学的思考・分析	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性		チームワーク、他者との協働	建学の精神の実践、奉仕動機
			◎(当てはまる) ○(一部当てはまる)													
科目区分	分野	時間割名														
共通科目	選択英語	基本英会話ⅠA	○			◎	◎				○	○				
共通科目	選択英語	基本英会話ⅠB	○			◎	◎				○	○				
共通科目	選択英語	基本英会話ⅠC	○			◎	◎				○	○				
共通科目	選択英語	基本英会話ⅡA	○			◎	◎				○	○				
共通科目	選択英語	基本英会話ⅡB	○			◎	◎				○	○				
共通科目	選択英語	基本英会話ⅡC	○			◎	◎				○	○				
共通科目	選択英語	基本英語ⅠA	○			○	○					○				
共通科目	選択英語	基本英語ⅠB	○			○	○					○				
共通科目	選択英語	基本英語ⅠC	○			○	○					○				
共通科目	選択英語	基本英語ⅡA	◎			○	○					○				
共通科目	選択英語	基本英語ⅡB	◎			○	○					○				
共通科目	選択英語	基本英語ⅡC	◎			○	○					○				
共通科目	選択英語	実用英語入門Ⅰ	◎			◎	◎					○				
共通科目	選択英語	実用英語入門Ⅱ	◎			◎	◎					○				
共通科目	選択英語	実用英語初級Ⅰ	◎			◎	◎					○				
共通科目	選択英語	実用英語初級Ⅱ	◎			◎	◎					○				
共通科目	クラス指定英語	マス・メディアの英語Ⅰ経A	◎			○	◎	◎				○	○			
共通科目	クラス指定英語	マス・メディアの英語Ⅰ経B	◎			○	◎	◎				○	○			
共通科目	クラス指定英語	マス・メディアの英語Ⅰ営C	◎			○	◎	◎				○	○			
共通科目	クラス指定英語	マス・メディアの英語Ⅰ営D	◎			○	◎	◎				○	○			
共通科目	クラス指定英語	マス・メディアの英語Ⅰ経E	◎			○	◎	◎				○	○			
共通科目	クラス指定英語	マス・メディアの英語Ⅰ経F	◎			○	◎	◎				○	○			
共通科目	クラス指定英語	マス・メディアの英語Ⅰ営G	◎			○	◎	◎				○	○			
共通科目	クラス指定英語	マス・メディアの英語Ⅰ営H	◎			○	◎	◎				○	○			
共通科目	クラス指定英語	マス・メディアの英語Ⅰ営I	◎			○	◎	◎				○	○			
共通科目	クラス指定英語	マス・メディアの英語Ⅰ営J	◎			○	◎	◎				○	○			

学位授与方針と各科目の関連(経済学部経済学科)			ディプロマ・ポリシー											備考	
経済学部経済学科ディプロマ・ポリシー			知識・理解		技能		思考・判断・表現				関心・意欲・態度				
科目区分	分野	時間割名	1	2-3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		13
<p>経済学部経済学科は、教育研究上の目的のもと、次に掲げるすべての能力(4領域14項目の能力)を備え、所定の単位を修得した学生に学位を授与する。</p> <p><知識・理解></p> <p>1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養)</p> <p>2. 経済学の基礎的な内容、方法、及び経済の仕組みについて理解している。(専門基礎に関する知識・理解)</p> <p>3. 選択したコース(産業経済・公共経済・情報経済・国際経済)ごとの専門知識及び方法について理解している。(専門領域に関する知識・理解)</p> <p>4. 本学が立地する「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解)</p> <p><技能></p> <p>5. 経済学の基礎及び専門領域に関する知識等を活用することにより、問題を発見し、それを解決するための方法を適切に選択することができる。(問題発見・解決力)</p> <p>6. 国際社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(国際協働力)</p> <p><思考・判断・表現></p> <p>7. 他者がもつ社会的・文化的背景を理解したうえで、自己を客体化して思考することができる。(多文化での共生)</p> <p>8. 倫理観と公平・公正の精神を持って、事象を判断することができる。(倫理観、公平・公正な判断)</p> <p>9. 経済学の専門知識・方法を活用し、経済的諸現象を論理的に分析し、客観的な見解を導くことができる。(経済学的思考・分析)</p> <p>10. 経済的諸問題についての分析や考察について、他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を論理的に説明し、発信することができる。(傾聴と発信)</p> <p><関心・意欲・態度></p> <p>11. 経済学的思考を基礎に、生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲)</p> <p>12. 経済学の知をもって、社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を有している。(社会参加への主体性)</p> <p>13. 経済学の豊富な知識と広い視野のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働)</p> <p>14. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)</p>			幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・解決力	国際協働力	多文化での共生	倫理観、公平・公正な判断	経済学的思考・分析	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性	チームワーク、他者との協働	建学の精神の実践、奉仕動機
			◎(当てはまる) ○(一部当てはまる)												
共通科目	クラス指定英語	マス・メディアの英語 I 経K	◎			○	◎	◎				○	○		
共通科目	クラス指定英語	マス・メディアの英語 I 経L	◎			○	◎	◎				○	○		
共通科目	クラス指定英語	マス・メディアの英語 I 経M	◎			○	◎	◎				○	○		
共通科目	クラス指定英語	マス・メディアの英語 I 営N	◎			○	◎	◎				○	○		
共通科目	クラス指定英語	マス・メディアの英語 I 営O	◎			○	◎	◎				○	○		
共通科目	クラス指定英語	マス・メディアの英語 II 経A	◎			○	◎	◎				○	○		
共通科目	クラス指定英語	マス・メディアの英語 II 経B	◎			○	◎	◎				○	○		
共通科目	クラス指定英語	マス・メディアの英語 II 営C	◎			○	◎	◎				○	○		
共通科目	クラス指定英語	マス・メディアの英語 II 営D	◎			○	◎	◎				○	○		
共通科目	クラス指定英語	マス・メディアの英語 II 経E	◎			○	◎	◎				○	○		
共通科目	クラス指定英語	マス・メディアの英語 II 経F	◎			○	◎	◎				○	○		
共通科目	クラス指定英語	マス・メディアの英語 II 営G	◎			○	◎	◎				○	○		
共通科目	クラス指定英語	マス・メディアの英語 II 営H	◎			○	◎	◎				○	○		
共通科目	クラス指定英語	マス・メディアの英語 II 営I	◎			○	◎	◎				○	○		
共通科目	クラス指定英語	マス・メディアの英語 II 営J	◎			○	◎	◎				○	○		
共通科目	クラス指定英語	マス・メディアの英語 II 経K	◎			○	◎	◎				○	○		
共通科目	クラス指定英語	マス・メディアの英語 II 経L	◎			○	◎	◎				○	○		
共通科目	クラス指定英語	マス・メディアの英語 II 経M	◎			○	◎	◎				○	○		
共通科目	クラス指定英語	マス・メディアの英語 II 営N	◎			○	◎	◎				○	○		
共通科目	クラス指定英語	マス・メディアの英語 II 営O	◎			○	◎	◎				○	○		
共通科目	クラス指定英語	オーラル・イングリッシュ I 営A	○			○	◎	◎				◎	○		
共通科目	クラス指定英語	オーラル・イングリッシュ I 営B	○			○	◎	◎				◎	○		
共通科目	クラス指定英語	オーラル・イングリッシュ I 経C	○			○	◎	◎				◎	○		
共通科目	クラス指定英語	オーラル・イングリッシュ I 営D	○			○	◎	◎				◎	○		
共通科目	クラス指定英語	オーラル・イングリッシュ I 営E	○			○	◎	◎				◎	○		
共通科目	クラス指定英語	オーラル・イングリッシュ I 経F	○			○	◎	◎				◎	○		

学位授与方針と各科目の関連(経済学部経済学科)			ディプロマ・ポリシー											備考	
経済学部経済学科ディプロマ・ポリシー			知識・理解		技能		思考・判断・表現				関心・意欲・態度				
科目区分	分野	時間割名	1	2-3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		13
<p>経済学部経済学科は、教育研究上の目的のもと、次に掲げるすべての能力(4領域14項目の能力)を備え、所定の単位を修得した学生に学位を授与する。</p> <p><知識・理解></p> <p>1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養)</p> <p>2. 経済学の基礎的な内容、方法、及び経済の仕組みについて理解している。(専門基礎に関する知識・理解)</p> <p>3. 選択したコース(産業経済・公共経済・情報経済・国際経済)ごとの専門知識及び方法について理解している。(専門領域に関する知識・理解)</p> <p>4. 本学が立地する「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解)</p> <p><技能></p> <p>5. 経済学の基礎及び専門領域に関する知識等を活用することにより、問題を発見し、それを解決するための方法を適切に選択することができる。(問題発見・解決力)</p> <p>6. 国際社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(国際協働力)</p> <p><思考・判断・表現></p> <p>7. 他者がもつ社会的・文化的背景を理解したうえで、自己を客体化して思考することができる。(多文化での共生)</p> <p>8. 倫理観と公平・公正の精神を持って、事象を判断することができる。(倫理観、公平・公正な判断)</p> <p>9. 経済学の専門知識・方法を活用し、経済的諸現象を論理的に分析し、客観的な見解を導くことができる。(経済学的思考・分析)</p> <p>10. 経済的諸問題についての分析や考察について、他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を論理的に説明し、発信することができる。(傾聴と発信)</p> <p><関心・意欲・態度></p> <p>11. 経済学的思考を基礎に、生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲)</p> <p>12. 経済学の知をもって、社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を有している。(社会参加への主体性)</p> <p>13. 経済学の豊富な知識と広い視野のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働)</p> <p>14. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)</p>			幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・解決力	国際協働力	多文化での共生	倫理観、公平・公正な判断	経済学的思考・分析	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性	チームワーク、他者との協働	建学の精神の実践、奉仕動機
			◎(当てはまる) ○(一部当てはまる)												
共通科目	クラス指定英語	オールラブル・イングリッシュ I 経G	○			○	◎	◎			◎	○			
共通科目	クラス指定英語	オールラブル・イングリッシュ I 経H	○			○	◎	◎			◎	○			
共通科目	クラス指定英語	オールラブル・イングリッシュ I 営I	○			○	◎	◎			◎	○			
共通科目	クラス指定英語	オールラブル・イングリッシュ I 営J	○			○	◎	◎			◎	○			
共通科目	クラス指定英語	オールラブル・イングリッシュ I 営K	○			○	◎	◎			◎	○			
共通科目	クラス指定英語	オールラブル・イングリッシュ I 経L	○			○	◎	◎			◎	○			
共通科目	クラス指定英語	オールラブル・イングリッシュ I 営M	○			○	◎	◎			◎	○			
共通科目	クラス指定英語	オールラブル・イングリッシュ I 経N	○			○	◎	◎			◎	○			
共通科目	クラス指定英語	オールラブル・イングリッシュ I 経O	○			○	◎	◎			◎	○			
共通科目	クラス指定英語	オールラブル・イングリッシュ I 経P	○			○	◎	◎			◎	○			
共通科目	クラス指定英語	オールラブル・イングリッシュ I 営Q	○			○	◎	◎			◎	○			
共通科目	クラス指定英語	オールラブル・イングリッシュ I 営R	○			○	◎	◎			◎	○			
共通科目	クラス指定英語	オールラブル・イングリッシュ II 営A	○			○	◎	◎			◎	○			
共通科目	クラス指定英語	オールラブル・イングリッシュ II 営B	○			○	◎	◎			◎	○			
共通科目	クラス指定英語	オールラブル・イングリッシュ II 経C	○			○	◎	◎			◎	○			
共通科目	クラス指定英語	オールラブル・イングリッシュ II 営D	○			○	◎	◎			◎	○			
共通科目	クラス指定英語	オールラブル・イングリッシュ II 営E	○			○	◎	◎			◎	○			
共通科目	クラス指定英語	オールラブル・イングリッシュ II 経F	○			○	◎	◎			◎	○			
共通科目	クラス指定英語	オールラブル・イングリッシュ II 経G	○			○	◎	◎			◎	○			
共通科目	クラス指定英語	オールラブル・イングリッシュ II 経H	○			○	◎	◎			◎	○			
共通科目	クラス指定英語	オールラブル・イングリッシュ II 営I	○			○	◎	◎			◎	○			
共通科目	クラス指定英語	オールラブル・イングリッシュ II 営J	○			○	◎	◎			◎	○			
共通科目	クラス指定英語	オールラブル・イングリッシュ II 営K	○			○	◎	◎			◎	○			
共通科目	クラス指定英語	オールラブル・イングリッシュ II 経L	○			○	◎	◎			◎	○			
共通科目	クラス指定英語	オールラブル・イングリッシュ II 営M	○			○	◎	◎			◎	○			
共通科目	クラス指定英語	オールラブル・イングリッシュ II 経N	○			○	◎	◎			◎	○			

学位授与方針と各科目の関連(経済学部経済学科)			ディプロマ・ポリシー											備考	
経済学部経済学科ディプロマ・ポリシー			知識・理解		技能		思考・判断・表現				関心・意欲・態度				
科目区分	分野	時間割名	1	2-3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		13
<p>経済学部経済学科は、教育研究上の目的のもと、次に掲げるすべての能力(4領域14項目の能力)を備え、所定の単位を修得した学生に学位を授与する。</p> <p><知識・理解></p> <p>1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養)</p> <p>2. 経済学の基礎的な内容、方法、及び経済の仕組みについて理解している。(専門基礎に関する知識・理解)</p> <p>3. 選択したコース(産業経済・公共経済・情報経済・国際経済)ごとの専門知識及び方法について理解している。(専門領域に関する知識・理解)</p> <p>4. 本学が立地する「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解)</p> <p><技能></p> <p>5. 経済学の基礎及び専門領域に関する知識等を活用することにより、問題を発見し、それを解決するための方法を適切に選択することができる。(問題発見・解決力)</p> <p>6. 国際社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(国際協働力)</p> <p><思考・判断・表現></p> <p>7. 他者がもつ社会的・文化的背景を理解したうえで、自己を客体化して思考することができる。(多文化での共生)</p> <p>8. 倫理観と公平・公正の精神を持って、事象を判断することができる。(倫理観、公平・公正な判断)</p> <p>9. 経済学の専門知識・方法を活用し、経済的諸現象を論理的に分析し、客観的な見解を導くことができる。(経済学的思考・分析)</p> <p>10. 経済的諸問題についての分析や考察について、他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を論理的に説明し、発信することができる。(傾聴と発信)</p> <p><関心・意欲・態度></p> <p>11. 経済学的思考を基礎に、生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲)</p> <p>12. 経済学の知をもって、社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を有している。(社会参加への主体性)</p> <p>13. 経済学の豊富な知識と広い視野のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働)</p> <p>14. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)</p>			幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・解決力	国際協働力	多文化での共生	倫理観、公平・公正な判断	経済学的思考・分析	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性	チームワーク、他者との協働	建学の精神の実践、奉仕動機
			◎(当てはまる) ○(一部当てはまる)												
共通科目	クラス指定英語	オーラル・イングリッシュⅡ 経O	○			○	◎	◎			◎	○			
共通科目	クラス指定英語	オーラル・イングリッシュⅡ 経P	○			○	◎	◎			◎	○			
共通科目	クラス指定英語	オーラル・イングリッシュⅡ 営Q	○			○	◎	◎			◎	○			
共通科目	クラス指定英語	オーラル・イングリッシュⅡ 営R	○			○	◎	◎			◎	○			
共通科目	クラス指定英語	国際関係と地域研究の英語Ⅰ 営A	◎				○	◎	○						○
共通科目	クラス指定英語	国際関係と地域研究の英語Ⅰ 営B	◎				○	◎	○						○
共通科目	クラス指定英語	国際関係と地域研究の英語Ⅰ 営C	◎				○	◎	○						○
共通科目	クラス指定英語	国際関係と地域研究の英語Ⅰ 経D	◎				○	◎	○						○
共通科目	クラス指定英語	国際関係と地域研究の英語Ⅰ 経E	◎				○	◎	○						○
共通科目	クラス指定英語	国際関係と地域研究の英語Ⅰ 経F	◎				○	◎	○						○
共通科目	クラス指定英語	国際関係と地域研究の英語Ⅰ 経G	◎				○	◎	○						○
共通科目	クラス指定英語	国際関係と地域研究の英語Ⅰ 営H	◎				○	◎	○						○
共通科目	クラス指定英語	国際関係と地域研究の英語Ⅰ 営I	◎				○	◎	○						○
共通科目	クラス指定英語	国際関係と地域研究の英語Ⅱ 営A	◎				○	◎	○						○
共通科目	クラス指定英語	国際関係と地域研究の英語Ⅱ 営B	◎				○	◎	○						○
共通科目	クラス指定英語	国際関係と地域研究の英語Ⅱ 営C	◎				○	◎	○						○
共通科目	クラス指定英語	国際関係と地域研究の英語Ⅱ 経D	◎				○	◎	○						○
共通科目	クラス指定英語	国際関係と地域研究の英語Ⅱ 経E	◎				○	◎	○						○
共通科目	クラス指定英語	国際関係と地域研究の英語Ⅱ 経F	◎				○	◎	○						○
共通科目	クラス指定英語	国際関係と地域研究の英語Ⅱ 経G	◎				○	◎	○						○
共通科目	クラス指定英語	国際関係と地域研究の英語Ⅱ 営H	◎				○	◎	○						○
共通科目	クラス指定英語	国際関係と地域研究の英語Ⅱ 営I	◎				○	◎	○						○
共通科目	クラス指定英語	言語と文学の英語Ⅰ 営A	◎				◎	◎	○						
共通科目	クラス指定英語	言語と文学の英語Ⅰ 経B	◎				◎	◎	○						
共通科目	クラス指定英語	言語と文学の英語Ⅰ 営C	◎				◎	◎	○						
共通科目	クラス指定英語	言語と文学の英語Ⅰ 営D	◎				◎	◎	○						

学位授与方針と各科目の関連(経済学部経済学科)			ディプロマ・ポリシー											備考	
経済学部経済学科ディプロマ・ポリシー			知識・理解		技能		思考・判断・表現				関心・意欲・態度				
科目区分	分野	時間割名	1	2-3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		13
<p>経済学部経済学科は、教育研究上の目的のもと、次に掲げるすべての能力(4領域14項目の能力)を備え、所定の単位を修得した学生に学位を授与する。</p> <p><知識・理解> 1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養) 2. 経済学の基礎的な内容、方法、及び経済の仕組みについて理解している。(専門基礎に関する知識・理解) 3. 選択したコース(産業経済・公共経済・情報経済・国際経済)ごとの専門知識及び方法について理解している。(専門領域に関する知識・理解) 4. 本学が立地する「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解)</p> <p><技能> 5. 経済学の基礎及び専門領域に関する知識等を活用することにより、問題を発見し、それを解決するための方法を適切に選択することができる。(問題発見・解決力) 6. 国際社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(国際協働力)</p> <p><思考・判断・表現> 7. 他者がもつ社会的・文化的背景を理解したうえで、自己を客体化して思考することができる。(多文化での共生) 8. 倫理観と公平・公正の精神を持って、事象を判断することができる。(倫理観、公平・公正な判断) 9. 経済学の専門知識・方法を活用し、経済的諸現象を論理的に分析し、客観的な見解を導くことができる。(経済学的思考・分析) 10. 経済的諸問題についての分析や考察について、他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を論理的に説明し、発信することができる。(傾聴と発信)</p> <p><関心・意欲・態度> 11. 経済学的思考を基礎に、生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲) 12. 経済学の知をもって、社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を有している。(社会参加への主体性) 13. 経済学の豊富な知識と広い視野のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働) 14. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)</p>			幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・解決力	国際協働力	多文化での共生	倫理観、公平・公正な判断	経済学的思考・分析	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性	チームワーク、他者との協働	建学の精神の実践、奉仕動機
			◎(当てはまる) ○(一部当てはまる)												
共通科目	クラス指定英語	言語と文学の英語 I 経済E	◎			◎	◎	○							
共通科目	クラス指定英語	言語と文学の英語 I 営F	◎			◎	◎	○							
共通科目	クラス指定英語	言語と文学の英語 I 経済G	◎			◎	◎	○							
共通科目	クラス指定英語	言語と文学の英語 I 経済H	◎			◎	◎	○							
共通科目	クラス指定英語	言語と文学の英語 I 経済I	◎			◎	◎	○							
共通科目	クラス指定英語	言語と文学の英語 I 営J	◎			◎	◎	○							
共通科目	クラス指定英語	言語と文学の英語 II 営A	◎			◎	◎	○							
共通科目	クラス指定英語	言語と文学の英語 II 経済B	◎			◎	◎	○							
共通科目	クラス指定英語	言語と文学の英語 II 営C	◎			◎	◎	○							
共通科目	クラス指定英語	言語と文学の英語 II 営D	◎			◎	◎	○							
共通科目	クラス指定英語	言語と文学の英語 II 経済E	◎			◎	◎	○							
共通科目	クラス指定英語	言語と文学の英語 II 営F	◎			◎	◎	○							
共通科目	クラス指定英語	言語と文学の英語 II 経済G	◎			◎	◎	○							
共通科目	クラス指定英語	言語と文学の英語 II 経済H	◎			◎	◎	○							
共通科目	クラス指定英語	言語と文学の英語 II 経済I	◎			◎	◎	○							
共通科目	クラス指定英語	言語と文学の英語 II 営J	◎			◎	◎	○							
共通科目	クラス指定英語	上級英語 I A	○	◎		◎	◎				○	○		○	
共通科目	クラス指定英語	上級英語 I B	○	◎		◎	◎				○	○		○	
共通科目	クラス指定英語	上級英語 II A	○	◎		◎	◎				○	○		○	
共通科目	クラス指定英語	上級英語 II B	○	◎		◎	◎				○	○		○	
共通科目	クラス指定英語	上級英語コミュニケーション I A	○	◎		◎	○				◎	○	○		
共通科目	クラス指定英語	上級英語コミュニケーション I B	○	◎		◎	○				◎	○	○		
共通科目	クラス指定英語	上級英語コミュニケーション II A	◎			○	◎	◎			○	○			
共通科目	クラス指定英語	上級英語コミュニケーション II B	◎			○	◎	◎			○	○			
共通科目	クラス指定英語	ESP II	○	○		○	◎	○		○	◎	○	○	○	
共通科目	クラス指定英語	ESP III	○	○	○	○	◎	○		○	◎	○	○	○	

学位授与方針と各科目の関連(経済学部経済学科)			ディプロマ・ポリシー											備考	
経済学部経済学科ディプロマ・ポリシー			知識・理解		技能		思考・判断・表現				関心・意欲・態度				
科目区分	分野	時間割名	1	2-3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		13
<p>経済学部経済学科は、教育研究上の目的のもと、次に掲げるすべての能力(4領域14項目の能力)を備え、所定の単位を修得した学生に学位を授与する。</p> <p><知識・理解></p> <p>1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養)</p> <p>2. 経済学の基礎的な内容、方法、及び経済の仕組みについて理解している。(専門基礎に関する知識・理解)</p> <p>3. 選択したコース(産業経済・公共経済・情報経済・国際経済)ごとの専門知識及び方法について理解している。(専門領域に関する知識・理解)</p> <p>4. 本学が立地する「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解)</p> <p><技能></p> <p>5. 経済学の基礎及び専門領域に関する知識等を活用することにより、問題を発見し、それを解決するための方法を適切に選択することができる。(問題発見・解決力)</p> <p>6. 国際社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(国際協働力)</p> <p><思考・判断・表現></p> <p>7. 他者がもつ社会的・文化的背景を理解したうえで、自己を客体化して思考することができる。(多文化での共生)</p> <p>8. 倫理観と公平・公正の精神を持って、事象を判断することができる。(倫理観、公平・公正な判断)</p> <p>9. 経済学の専門知識・方法を活用し、経済的諸現象を論理的に分析し、客観的な見解を導くことができる。(経済学的思考・分析)</p> <p>10. 経済的諸問題についての分析や考察について、他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を論理的に説明し、発信することができる。(傾聴と発信)</p> <p><関心・意欲・態度></p> <p>11. 経済学的思考を基礎に、生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲)</p> <p>12. 経済学の知をもって、社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を有している。(社会参加への主体性)</p> <p>13. 経済学の豊富な知識と広い視野のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働)</p> <p>14. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)</p>			幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・解決力	国際協働力	多文化での共生	倫理観、公平・公正な判断	経済学的思考・分析	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性	チームワーク、他者との協働	建学の精神の実践、奉仕動機
			◎(当てはまる) ○(一部当てはまる)												
共通科目	クラス指定英語	English Communication II	◎				◎	◎				○	○	○	
共通科目	クラス指定英語	English Communication III	◎				◎	◎				○	○	○	
共通科目	選択英語	テーマ英語[経済・経営の英語]	◎	○			○			○					
共通科目	選択英語	テーマ英語[英語で書いてみよう]	◎	○			◎	○			◎			○	
共通科目	選択英語	テーマ英語[映像にみる英語社会]	◎			◎	○	◎			○	○			
共通科目	選択英語	テーマ英語[英語と文化]	◎				◎	◎				○	○	○	
共通科目	選択英語	テーマ英語[英語によるコミュニケーション]A	○				◎	○			◎	○	○		
共通科目	選択英語	テーマ英語[英語によるコミュニケーション]B	○				◎	○			◎	○	○		
共通科目	選択英語	テーマ英語[言語・文化・社会]	◎				○	◎			○	◎			
共通科目	選択英語	留学英語(初級) I	○				◎	○			◎			○	
共通科目	選択英語	留学英語(初級) II	○				◎	○			◎			○	
共通科目	選択英語	留学英語(中級) I	○				◎	○			◎			○	
共通科目	選択英語	留学英語(中級) II	○				◎	○			◎			○	
共通科目	選択英語	海外語学演習[英語]	○				◎	◎			○	○	◎		
共通科目	英語以外の外国語	ドイツ語初級 I	◎				◎	◎				○			
共通科目	英語以外の外国語	ドイツ語初級 II	◎				◎	◎				○			
共通科目	英語以外の外国語	ドイツ語初級会話 I A	◎				◎	◎				○			
共通科目	英語以外の外国語	ドイツ語初級会話 I B	◎				◎	◎				○			
共通科目	英語以外の外国語	ドイツ語初級会話 II A	◎				◎	◎				○			
共通科目	英語以外の外国語	ドイツ語初級会話 II B	◎				◎	◎				○			
共通科目	英語以外の外国語	実用ドイツ語 I	◎				◎	◎				○			
共通科目	英語以外の外国語	実用ドイツ語 II	◎				◎	◎				○			
共通科目	英語以外の外国語	フランス語初級 I	◎				◎	◎				○			
共通科目	英語以外の外国語	フランス語初級 II	◎				◎	◎				○			
共通科目	英語以外の外国語	フランス語初級会話 I A	◎				◎	◎				○			
共通科目	英語以外の外国語	フランス語初級会話 I B	◎				◎	◎				○			

学位授与方針と各科目の関連(経済学部経済学科)			ディプロマ・ポリシー											備考	
経済学部経済学科ディプロマ・ポリシー			知識・理解		技能		思考・判断・表現				関心・意欲・態度				
科目区分	分野	時間割名	1	2-3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		13
<p>経済学部経済学科は、教育研究上の目的のもと、次に掲げるすべての能力(4領域14項目の能力)を備え、所定の単位を修得した学生に学位を授与する。</p> <p><知識・理解> 1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養) 2. 経済学の基礎的な内容、方法、及び経済の仕組みについて理解している。(専門基礎に関する知識・理解) 3. 選択したコース(産業経済・公共経済・情報経済・国際経済)ごとの専門知識及び方法について理解している。(専門領域に関する知識・理解) 4. 本学が立地する「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解)</p> <p><技能> 5. 経済学の基礎及び専門領域に関する知識等を活用することにより、問題を発見し、それを解決するための方法を適切に選択することができる。(問題発見・解決力) 6. 国際社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(国際協働力)</p> <p><思考・判断・表現> 7. 他者をもつ社会的・文化的背景を理解したうえで、自己を客体化して思考することができる。(多文化での共生) 8. 倫理観と公平・公正の精神を持って、事象を判断することができる。(倫理観、公平・公正な判断) 9. 経済学の専門知識・方法を活用し、経済的諸現象を論理的に分析し、客観的な見解を導くことができる。(経済学的思考・分析) 10. 経済的諸問題についての分析や考察について、他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を論理的に説明し、発信することができる。(傾聴と発信)</p> <p><関心・意欲・態度> 11. 経済学的思考を基礎に、生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲) 12. 経済学の知をもって、社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を有している。(社会参加への主体性) 13. 経済学の豊富な知識と広い視野のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働) 14. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)</p>			幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・解決力	国際協働力	多文化での共生	倫理観、公平・公正な判断	経済学的思考・分析	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性	チームワーク、他者との協働	建学の精神の実践、奉仕動機
			◎(当てはまる) ○(一部当てはまる)												
共通科目	英語以外の外国語	フランス語初級会話ⅡA	◎				◎	◎				◎			
共通科目	英語以外の外国語	フランス語初級会話ⅡB	◎				◎	◎				◎			
共通科目	英語以外の外国語	実用フランス語Ⅰ	◎				◎	◎				◎			
共通科目	英語以外の外国語	実用フランス語Ⅱ	◎				◎	◎				◎			
共通科目	英語以外の外国語	ロシア語初級Ⅰ	◎				◎	◎				◎			
共通科目	英語以外の外国語	ロシア語初級Ⅱ	◎				◎	◎				◎			
共通科目	英語以外の外国語	ロシア語初級会話ⅠA	◎				◎	◎				◎			
共通科目	英語以外の外国語	ロシア語初級会話ⅠB	◎				◎	◎				◎			
共通科目	英語以外の外国語	ロシア語初級会話ⅡA	◎				◎	◎				◎			
共通科目	英語以外の外国語	ロシア語初級会話ⅡB	◎				◎	◎				◎			
共通科目	英語以外の外国語	実用ロシア語Ⅰ	◎				◎	◎				◎			
共通科目	英語以外の外国語	実用ロシア語Ⅱ	◎				◎	◎				◎			
共通科目	英語以外の外国語	スペイン語初級ⅠA	◎				◎	◎				◎			
共通科目	英語以外の外国語	スペイン語初級ⅠB	◎				◎	◎				◎			
共通科目	英語以外の外国語	スペイン語初級ⅡA	◎				◎	◎				◎			
共通科目	英語以外の外国語	スペイン語初級ⅡB	◎				◎	◎				◎			
共通科目	英語以外の外国語	スペイン語初級会話ⅠA	◎				◎	◎				◎			
共通科目	英語以外の外国語	スペイン語初級会話ⅠB	◎				◎	◎				◎			
共通科目	英語以外の外国語	スペイン語初級会話ⅡA	◎				◎	◎				◎			
共通科目	英語以外の外国語	スペイン語初級会話ⅡB	◎				◎	◎				◎			
共通科目	英語以外の外国語	実用スペイン語Ⅰ	◎				◎	◎				◎			
共通科目	英語以外の外国語	実用スペイン語Ⅱ	◎				◎	◎				◎			
共通科目	英語以外の外国語	中国語初級ⅠA	◎				◎	◎				◎			
共通科目	英語以外の外国語	中国語初級ⅠB	◎				◎	◎				◎			
共通科目	英語以外の外国語	中国語初級ⅠC	◎				◎	◎				◎			
共通科目	英語以外の外国語	中国語初級ⅡA	◎				◎	◎				◎			

学位授与方針と各科目の関連(経済学部経済学科)			ディプロマ・ポリシー											備考	
経済学部経済学科ディプロマ・ポリシー 経済学部経済学科は、教育研究上の目的のもと、次に掲げるすべての能力(4領域14項目の能力)を備え、所定の単位を修得した学生に学位を授与する。 <知識・理解> 1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養) 2. 経済学の基礎的な内容、方法、及び経済の仕組みについて理解している。(専門基礎に関する知識・理解) 3. 選択したコース(産業経済・公共経済・情報経済・国際経済)ごとの専門知識及び方法について理解している。(専門領域に関する知識・理解) 4. 本学が立地する「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解) <技能> 5. 経済学の基礎及び専門領域に関する知識等を活用することにより、問題を発見し、それを解決するための方法を適切に選択することができる。(問題発見・解決力) 6. 国際社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(国際協働力) <思考・判断・表現> 7. 他者をもつ社会的・文化的背景を理解したうえで、自己を客体化して思考することができる。(多文化での共生) 8. 倫理観と公平・公正の精神を持って、事象を判断することができる。(倫理観、公平・公正な判断) 9. 経済学の専門知識・方法を活用し、経済的諸現象を論理的に分析し、客観的な見解を導くことができる。(経済学的思考・分析) 10. 経済的諸問題についての分析や考察について、他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を論理的に説明し、発信することができる。(傾聴と発信) <関心・意欲・態度> 11. 経済学的思考を基礎に、生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲) 12. 経済学の知をもって、社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を有している。(社会参加への主体性) 13. 経済学の豊富な知識と広い視野のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働) 14. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)			知識・理解		技能		思考・判断・表現				関心・意欲・態度				
			1	2-3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		13
	幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・解決力	国際協働力	多文化での共生	倫理観、公平・公正な判断	経済学的思考・分析	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性	チームワーク、他者との協働	建学の精神の実践、奉仕動機		
	◎(当てはまる) ○(一部当てはまる)														
科目区分	分野	時間割名													
共通科目	英語以外の外国語	中国語初級ⅡB	◎			◎	◎					○			
共通科目	英語以外の外国語	中国語初級ⅡC	◎			◎	◎					○			
共通科目	英語以外の外国語	中国語初級会話ⅠA	◎			◎	◎					○			
共通科目	英語以外の外国語	中国語初級会話ⅠB	◎			◎	◎					○			
共通科目	英語以外の外国語	中国語初級会話ⅠC	◎			◎	◎					○			
共通科目	英語以外の外国語	中国語初級会話ⅠD	◎			◎	◎					○			
共通科目	英語以外の外国語	中国語初級会話ⅡA	◎			◎	◎					○			
共通科目	英語以外の外国語	中国語初級会話ⅡB	◎			◎	◎					○			
共通科目	英語以外の外国語	中国語初級会話ⅡC	◎			◎	◎					○			
共通科目	英語以外の外国語	中国語初級会話ⅡD	◎			◎	◎					○			
共通科目	英語以外の外国語	実用中国語Ⅰ	◎			◎	◎					○			
共通科目	英語以外の外国語	実用中国語Ⅱ	◎			◎	◎					○			
共通科目	英語以外の外国語	ハングル初級Ⅰ	◎			◎	◎					○			
共通科目	英語以外の外国語	ハングル初級Ⅱ	◎			◎	◎					○			
共通科目	英語以外の外国語	ハングル初級会話ⅠA	◎			◎	◎					○			
共通科目	英語以外の外国語	ハングル初級会話ⅠB	◎			◎	◎					○			
共通科目	英語以外の外国語	ハングル初級会話ⅡA	◎			◎	◎					○			
共通科目	英語以外の外国語	ハングル初級会話ⅡB	◎			◎	◎					○			
共通科目	英語以外の外国語	実用ハングルⅠ	◎			◎	◎					○			
共通科目	英語以外の外国語	実用ハングルⅡ	◎			◎	◎					○			
共通科目	英語以外の外国語	海外語学演習[中国語]	○			◎	◎			○	○	◎			
共通科目	英語以外の外国語	海外語学演習[韓国語]	○			◎	◎			○	○	◎			
共通科目	英語以外の外国語	海外語学演習[フランス語]	○			◎	◎			○	○	◎			
共通科目	英語以外の外国語	海外語学演習[ドイツ語]	○			◎	◎			○	○	◎			
外国人留学生科目	総合科目	日本事情[人文]	◎		○	◎	◎			○					
外国人留学生科目	総合科目	日本事情[社会]	◎		○	◎	◎			○					

学位授与方針と各科目の関連(経済学部経済学科)			ディプロマ・ポリシー											備考	
経済学部経済学科ディプロマ・ポリシー			知識・理解		技能		思考・判断・表現				関心・意欲・態度				
科目区分	分野	時間割名	1	2-3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
経済学部経済学科は、教育研究上の目的のもと、次に掲げるすべての能力(4領域14項目の能力)を備え、所定の単位を修得した学生に学位を授与する。 <知識・理解> 1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養) 2. 経済学の基礎的な内容、方法、及び経済の仕組みについて理解している。(専門基礎に関する知識・理解) 3. 選択したコース(産業経済・公共経済・情報経済・国際経済)ごとの専門知識及び方法について理解している。(専門領域に関する知識・理解) 4. 本学が立地する「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解) <技能> 5. 経済学の基礎及び専門領域に関する知識等を活用することにより、問題を発見し、それを解決するための方法を適切に選択することができる。(問題発見・解決力) 6. 国際社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(国際協働力) <思考・判断・表現> 7. 他者がもつ社会的・文化的背景を理解したうえで、自己を客体化して思考することができる。(多文化での共生) 8. 倫理観と公平・公正の精神を持って、事象を判断することができる。(倫理観、公平・公正な判断) 9. 経済学の専門知識・方法を活用し、経済的諸現象を論理的に分析し、客観的な見解を導くことができる。(経済学的思考・分析) 10. 経済的諸問題についての分析や考察について、他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を論理的に説明し、発信することができる。(傾聴と発信) <関心・意欲・態度> 11. 経済学的思考を基礎に、生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲) 12. 経済学の知をもって、社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を有している。(社会参加への主体性) 13. 経済学の豊富な知識と広い視野のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働) 14. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)			幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・解決力	国際協働力	多文化での共生	倫理観、公平・公正な判断	経済学的思考・分析	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性	チームワーク、他者との協働	建学の精神の実践、奉仕動機
			◎(当てはまる) ○(一部当てはまる)												
外国人留学生科目	総合科目	日本事情[自然]	◎		○		◎	◎				○			
外国人留学生科目	外国語科目	日本語理解Ⅰ	○				◎	◎			○	○	◎		
外国人留学生科目	外国語科目	日本語理解Ⅱ	○				◎	◎			○	○	◎		
外国人留学生科目	外国語科目	日本語表現Ⅰ	○				◎	◎			○	○	◎		
外国人留学生科目	外国語科目	日本語表現Ⅱ	○				◎	◎			○	○	◎		
外国人留学生科目	外国語科目	論文・論説の日本語Ⅰ	○				◎	◎			○	○	◎		
外国人留学生科目	外国語科目	論文・論説の日本語Ⅱ	○				◎	◎			○	○	◎		
外国人留学生科目	外国語科目	日本語・言語と文化Ⅰ	◎		○		◎	◎			○	○	◎		
外国人留学生科目	外国語科目	日本語・言語と文化Ⅱ	◎		○		◎	◎			○	○	◎		
専門科目	複合テーマ	ビジネスコミュニケーション演習A	○			○			○		◎	○	○	○	
専門科目	複合テーマ	ビジネスコミュニケーション演習B	○			○			○		◎	○	○	○	
専門科目	複合テーマ	ビジネスコミュニケーション演習C	○			○			○		◎	○	○	○	
専門科目	複合テーマ	ビジネスコミュニケーション演習D	○			○			○		◎	○	○	○	
専門科目	複合テーマ	共生の倫理	◎	○		○		◎	◎						
専門科目	複合テーマ	現代社会と若者	○	◎				◎	◎			○	○		
専門科目	複合テーマ	地図情報と生活	○	◎	◎	◎		○				○			
専門科目	複合テーマ	地域の自然環境	◎		○	◎		◎			○				○
専門科目	複合テーマ	神奈川地域論	○	◎	◎	○		◎					○		
専門科目	複合テーマ	ビジネス英語A	○	○			◎	◎			◎			◎	
専門科目	複合テーマ	ビジネス英語B	○	○			◎	◎			◎			◎	
専門科目	複合テーマ	言語と社会[英語の諸相と文学]A	○	○	◎	○		◎							2020年度休講
専門科目	複合テーマ	言語と社会[英語の諸相と文学]B	○	○	◎	○		◎							2020年度休講
専門科目	複合テーマ	言語と社会[ことばとアイデンティティ]	◎	○		◎		○			○			◎	
専門科目	複合テーマ	言語と社会[多文化共生と文化的アイデンティティの表象]	◎			○	◎	◎	○			○			
専門科目	複合テーマ	Englishes for International Communication	○				◎	◎			○	○		◎	
専門科目	複合テーマ	ワーク&ライフ・バランス論A	○	◎		○		◎			○				

学位授与方針と各科目の関連(経済学部経済学科)			ディプロマ・ポリシー											備考					
経済学部経済学科ディプロマ・ポリシー 経済学部経済学科は、教育研究上の目的のもと、次に掲げるすべての能力(4領域14項目の能力)を備え、所定の単位を修得した学生に学位を授与する。 <知識・理解> 1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養) 2. 経済学の基礎的な内容、方法、及び経済の仕組みについて理解している。(専門基礎に関する知識・理解) 3. 選択したコース(産業経済・公共経済・情報経済・国際経済)ごとの専門知識及び方法について理解している。(専門領域に関する知識・理解) 4. 本学が立地する「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解) <技能> 5. 経済学の基礎及び専門領域に関する知識等を活用することにより、問題を発見し、それを解決するための方法を適切に選択することができる。(問題発見・解決力) 6. 国際社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(国際協働力) <思考・判断・表現> 7. 他者がもつ社会的・文化的背景を理解したうえで、自己を客体化して思考することができる。(多文化での共生) 8. 倫理観と公平・公正の精神を持って、事象を判断することができる。(倫理観、公平・公正な判断) 9. 経済学の専門知識・方法を活用し、経済的諸現象を論理的に分析し、客観的な見解を導くことができる。(経済学的思考・分析) 10. 経済的諸問題についての分析や考察について、他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を論理的に説明し、発信することができる。(傾聴と発信) <関心・意欲・態度> 11. 経済学的思考を基礎に、生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲) 12. 経済学の知をもって、社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を有している。(社会参加への主体性) 13. 経済学の豊富な知識と広い視野のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働) 14. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)			知識・理解		技能		思考・判断・表現				関心・意欲・態度								
			1	2-3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		13	14			
	幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・解決力	国際協働力	多文化での共生	倫理観、公平・公正な判断	経済学的思考・分析	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性	チームワーク、他者との協働	建学の精神の実践、奉仕動機						
科目区分	分野	時間割名	◎(当てはまる) ○(一部当てはまる)																
専門科目	法学	法学概論(国際法を含む)ⅡA	○	◎		◎			◎	○		○							
専門科目	法学	法学概論(国際法を含む)ⅡB	○	◎		◎			◎	○		○							
専門科目	法学	憲法ⅠA	○	◎		◎			◎	○		○							
専門科目	法学	憲法ⅠB	○	◎		◎			◎	○		○							
専門科目	法学	憲法ⅡA	○	◎		◎			◎	○		○							
専門科目	法学	憲法ⅡB	○	◎		◎			◎	○		○							
専門科目	法学	民法ⅠA	○	◎		◎			◎	○		○							
専門科目	法学	民法ⅠB	○	◎		◎			◎	○		○							
専門科目	法学	民法ⅡA	○	◎		◎			◎	○		○							
専門科目	法学	民法ⅡB	○	◎		◎			◎	○		○							
専門科目	法学	会社法Ⅰ	○	◎		◎			◎	○		○							
専門科目	法学	会社法Ⅱ	○	◎		◎			◎	○		○							
専門科目	法学	行政法Ⅰ	○	◎		◎			◎	○		○							
専門科目	法学	行政法Ⅱ	○	◎		◎			◎	○		○							
専門科目	法学	労働法Ⅰ	○	◎		◎			◎	○		○							
専門科目	法学	労働法Ⅱ	○	◎		◎			◎	○		○							
専門科目	法学	経済法Ⅰ	○	◎		◎			◎	○		○							
専門科目	法学	経済法Ⅱ	○	◎		◎			◎	○		○							
専門科目	経済	経済学入門A		◎		◎				◎	○	○	○						
専門科目	経済	経済学入門B		◎		◎				◎	○	○	○						
専門科目	経済	現代経済ⅠA	○	◎		○			◎	◎		○							
専門科目	経済	現代経済ⅠB	○	◎		○			◎	◎		○							
専門科目	経済	現代経済ⅠC	○	◎		○			◎	◎		○							
専門科目	経済	現代経済ⅠD	○	◎		○			◎	◎		○							
専門科目	経済	現代経済ⅡA	○	◎		○			◎	◎		○							
専門科目	経済	現代経済ⅡB	○	◎		○			◎	◎		○							

学位授与方針と各科目の関連(経済学部経済学科)			ディプロマ・ポリシー											備考	
経済学部経済学科ディプロマ・ポリシー			知識・理解		技能		思考・判断・表現				関心・意欲・態度				
科目区分	分野	時間割名	1	2-3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		13
<p>経済学部経済学科は、教育研究上の目的のもと、次に掲げるすべての能力(4領域14項目の能力)を備え、所定の単位を修得した学生に学位を授与する。</p> <p><知識・理解></p> <p>1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養)</p> <p>2. 経済学の基礎的な内容、方法、及び経済の仕組みについて理解している。(専門基礎に関する知識・理解)</p> <p>3. 選択したコース(産業経済・公共経済・情報経済・国際経済)ごとの専門知識及び方法について理解している。(専門領域に関する知識・理解)</p> <p>4. 本学が立地する「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解)</p> <p><技能></p> <p>5. 経済学の基礎及び専門領域に関する知識等を活用することにより、問題を発見し、それを解決するための方法を適切に選択することができる。(問題発見・解決力)</p> <p>6. 国際社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(国際協働力)</p> <p><思考・判断・表現></p> <p>7. 他者がもつ社会的・文化的背景を理解したうえで、自己を客体化して思考することができる。(多文化での共生)</p> <p>8. 倫理観と公平・公正の精神を持って、事象を判断することができる。(倫理観、公平・公正な判断)</p> <p>9. 経済学の専門知識・方法を活用し、経済的諸現象を論理的に分析し、客観的な見解を導くことができる。(経済学的思考・分析)</p> <p>10. 経済的諸問題についての分析や考察について、他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を論理的に説明し、発信することができる。(傾聴と発信)</p> <p><関心・意欲・態度></p> <p>11. 経済学的思考を基礎に、生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲)</p> <p>12. 経済学の知をもって、社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を有している。(社会参加への主体性)</p> <p>13. 経済学の豊富な知識と広い視野のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働)</p> <p>14. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)</p>			幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・解決力	国際協働力	多文化での共生	倫理観、公平・公正な判断	経済学的思考・分析	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性	チームワーク、他者との協働	建学の精神の実践、奉仕動機
			◎(当てはまる) ○(一部当てはまる)												
専門科目	経済	現代経済ⅡC	○	◎		○			◎	◎		○			
専門科目	経済	現代経済ⅡD	○	◎		○			◎	◎		○			
専門科目	経済	経済のための数学入門	○	◎		○			◎	◎		○			
専門科目	経済	日本史Ⅰ	○	◎	○		◎	◎				○			
専門科目	経済	日本史Ⅱ	○	◎	○		◎	◎				○			
専門科目	経済	外国史Ⅰ	○	◎	○		◎	◎				○			
専門科目	経済	外国史Ⅱ	○	◎	○		◎	◎				○			
専門科目	経済	地理学(地誌)Ⅰ	○	○	◎		○	◎				○			
専門科目	経済	地理学(地誌)Ⅱ	○	○	◎		○	◎				○			
専門科目	経済	社会経済学ⅠA	○	◎		◎			○	◎		○			
専門科目	経済	社会経済学ⅠB	○	◎		◎			○	◎		○			
専門科目	経済	社会経済学ⅠC	○	◎		◎			○	◎		○			
専門科目	経済	社会経済学ⅠD	○	◎		◎			○	◎		○			
専門科目	経済	社会経済学ⅡA	○	◎		◎			○	◎		○			
専門科目	経済	社会経済学ⅡB	○	◎		◎			○	◎		○			
専門科目	経済	社会経済学ⅡC	○	◎		◎			○	◎		○			
専門科目	経済	社会経済学ⅡD	○	◎		◎			○	◎		○			
専門科目	経済	地理情報学	○	◎		◎			○	◎		○			
専門科目	経済	基礎マクロ経済学A	○	◎		◎			○	◎		○			
専門科目	経済	基礎マクロ経済学B	○	◎		◎			○	◎		○			
専門科目	経済	基礎マクロ経済学C	○	◎		◎			○	◎		○			
専門科目	経済	基礎マクロ経済学D	○	◎		◎			○	◎		○			
専門科目	経済	基礎ミクロ経済学A	○	◎		◎			○	◎		○			
専門科目	経済	基礎ミクロ経済学B	○	◎		◎			○	◎		○			
専門科目	経済	基礎ミクロ経済学C	○	◎		◎			○	◎		○			
専門科目	経済	基礎ミクロ経済学D	○	◎		◎			○	◎		○			

学位授与方針と各科目の関連(経済学部経済学科)			ディプロマ・ポリシー											備考	
経済学部経済学科ディプロマ・ポリシー			知識・理解		技能		思考・判断・表現				関心・意欲・態度				
科目区分	分野	時間割名	1	2-3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		13
<p>経済学部経済学科は、教育研究上の目的のもと、次に掲げるすべての能力(4領域14項目の能力)を備え、所定の単位を修得した学生に学位を授与する。</p> <p><知識・理解> 1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養) 2. 経済学の基礎的な内容、方法、及び経済の仕組みについて理解している。(専門基礎に関する知識・理解) 3. 選択したコース(産業経済・公共経済・情報経済・国際経済)ごとの専門知識及び方法について理解している。(専門領域に関する知識・理解) 4. 本学が立地する「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解)</p> <p><技能> 5. 経済学の基礎及び専門領域に関する知識等を活用することにより、問題を発見し、それを解決するための方法を適切に選択することができる。(問題発見・解決力) 6. 国際社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(国際協働力)</p> <p><思考・判断・表現> 7. 他者がもつ社会的・文化的背景を理解したうえで、自己を客体化して思考することができる。(多文化での共生) 8. 倫理観と公平・公正の精神を持って、事象を判断することができる。(倫理観、公平・公正な判断) 9. 経済学の専門知識・方法を活用し、経済的諸現象を論理的に分析し、客観的な見解を導くことができる。(経済学的思考・分析) 10. 経済的諸問題についての分析や考察について、他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を論理的に説明し、発信することができる。(傾聴と発信)</p> <p><関心・意欲・態度> 11. 経済学的思考を基礎に、生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲) 12. 経済学の知をもって、社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を有している。(社会参加への主体性) 13. 経済学の豊富な知識と広い視野のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働) 14. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)</p>			幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・解決力	国際協働力	多文化での共生	倫理観、公平・公正な判断	経済学的思考・分析	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性	チームワーク、他者との協働	建学の精神の実践、奉仕動機
			◎(当てはまる) ○(一部当てはまる)												
専門科目	経済	経済政策論ⅠA	○	◎		◎			○	◎		○			
専門科目	経済	経済政策論ⅠB	○	◎		◎			○	◎		○			
専門科目	経済	経済政策論ⅠC	○	◎		◎			○	◎		○			
専門科目	経済	経済政策論ⅡA	○	◎		◎			○	◎		○			
専門科目	経済	経済政策論ⅡB	○	◎		◎			○	◎		○			
専門科目	経済	経済政策論ⅡC	○	◎		◎			○	◎		○			
専門科目	経済	経済史ⅠA	○	◎		◎			○	◎		○			
専門科目	経済	経済史ⅠB	○	◎		◎			○	◎		○			
専門科目	経済	経済史ⅠC	○	◎		◎			○	◎		○			
専門科目	経済	経済史ⅡA	○	◎		◎			○	◎		○			
専門科目	経済	経済史ⅡB	○	◎		◎			○	◎		○			
専門科目	経済	経済史ⅡC	○	◎		◎			○	◎		○			
専門科目	経済	統計学概論ⅠA	○	◎		◎			○	◎		○			
専門科目	経済	統計学概論ⅠB	○	◎		◎			○	◎		○			
専門科目	経済	統計学概論ⅠC	○	◎		◎			○	◎		○			
専門科目	経済	統計学概論ⅡA	○	◎		◎			○	◎		○			
専門科目	経済	統計学概論ⅡB	○	◎		◎			○	◎		○			
専門科目	経済	統計学概論ⅡC	○	◎		◎			○	◎		○			
専門科目	経済	国際協力の現場		○		○	◎	○					◎		◎
専門科目	経済	経済記事を読む	○	◎		◎			○	◎		○			
専門科目	経済	Japan Studies(経済)		◎		○	◎	○		◎				○	
専門科目	経済	Japan Studies(実践)		◎		○	◎	○		◎				○	
専門科目	経済	社会科学概論Ⅰ	◎	◎		○			○		◎	○			
専門科目	経済	社会科学概論Ⅱ	◎	◎		○			○		◎	○			
専門科目	経済	社会思想史Ⅰ	◎	◎		○		○	◎			○			
専門科目	経済	社会思想史Ⅱ	◎	◎		○		○	◎			○			

学位授与方針と各科目の関連(経済学部経済学科)			ディプロマ・ポリシー											備考	
経済学部経済学科ディプロマ・ポリシー			知識・理解		技能		思考・判断・表現				関心・意欲・態度				
経済学部経済学科は、教育研究上の目的のもと、次に掲げるすべての能力(4領域14項目の能力)を備え、所定の単位を修得した学生に学位を授与する。			1	2-3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
<p><知識・理解></p> <p>1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養)</p> <p>2. 経済学の基礎的な内容、方法、及び経済の仕組みについて理解している。(専門基礎に関する知識・理解)</p> <p>3. 選択したコース(産業経済・公共経済・情報経済・国際経済)ごとの専門知識及び方法について理解している。(専門領域に関する知識・理解)</p> <p>4. 本学が立地する「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解)</p> <p><技能></p> <p>5. 経済学の基礎及び専門領域に関する知識等を活用することにより、問題を発見し、それを解決するための方法を適切に選択することができる。(問題発見・解決力)</p> <p>6. 国際社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(国際協働力)</p> <p><思考・判断・表現></p> <p>7. 他者がもつ社会的・文化的背景を理解したうえで、自己を客体化して思考することができる。(多文化での共生)</p> <p>8. 倫理観と公平・公正の精神を持って、事象を判断することができる。(倫理観、公平・公正な判断)</p> <p>9. 経済学の専門知識・方法を活用し、経済的諸現象を論理的に分析し、客観的な見解を導くことができる。(経済学的思考・分析)</p> <p>10. 経済的諸問題についての分析や考察について、他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を論理的に説明し、発信することができる。(傾聴と発信)</p> <p><関心・意欲・態度></p> <p>11. 経済学的思考を基礎に、生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲)</p> <p>12. 経済学の知をもって、社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を有している。(社会参加への主体性)</p> <p>13. 経済学の豊富な知識と広い視野のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働)</p> <p>14. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)</p>			幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・解決力	国際協働力	多文化での共生	倫理観、公平・公正な判断	経済学的思考・分析	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性	チームワーク、他者との協働	建学の精神の実践、奉仕動機
科目区分	分野	時間割名	◎(当てはまる) ○(一部当てはまる)												
専門科目	経済	経済学史Ⅰ	○	◎		○				◎	◎	○			
専門科目	経済	経済学史Ⅱ	○	◎		○				◎	◎	○			
専門科目	経済	経済思想史Ⅰ	◎	◎		○			◎	○		○			
専門科目	経済	経済思想史Ⅱ	◎	◎		○			◎	○		○			
専門科目	経済	産業循環論Ⅰ		◎		◎				◎	○	○	○		
専門科目	経済	産業循環論Ⅱ		◎		◎				◎	○	○	○		
専門科目	経済	マクロ経済学Ⅰ		◎		◎				◎	○	○	○		
専門科目	経済	マクロ経済学Ⅱ		◎		◎				◎	○	○	○		
専門科目	経済	ミクロ経済学Ⅰ		◎		◎				◎	○	○	○		
専門科目	経済	ミクロ経済学Ⅱ		◎		◎				◎	○	○	○		
専門科目	経済	国際経済学Ⅰ	○	◎		◎			○	◎		○			
専門科目	経済	国際経済学Ⅱ	○	◎		◎			○	◎		○			
専門科目	経済	経済数学Ⅰ	○	◎		◎				◎	○	○			
専門科目	経済	経済数学Ⅱ	○	◎		◎				◎	○	○			
専門科目	経済	景気変動論Ⅰ		◎		◎				◎	○	○	○		
専門科目	経済	景気変動論Ⅱ		◎		◎				◎	○	○	○		
専門科目	経済	近代経済学史	○	◎		○			○	◎	◎	○			
専門科目	経済	財政学ⅠA		◎		○			○	◎		○	◎		
専門科目	経済	財政学ⅠB		◎		○			○	◎		○	◎		
専門科目	経済	財政学ⅡA		◎		○			○	◎		○	◎		
専門科目	経済	財政学ⅡB		◎		○			○	◎		○	◎		
専門科目	経済	地方財政Ⅰ		◎	○	◎			○	◎		○			
専門科目	経済	地方財政Ⅱ		◎	○	◎			○	◎		○			
専門科目	経済	金融論Ⅰ	○	◎		◎			○	◎		○			
専門科目	経済	金融論Ⅱ	○	◎		◎			○	◎		○			
専門科目	経済	産業論Ⅰ		◎		◎			○	◎	○	○			

学位授与方針と各科目の関連(経済学部経済学科)			ディプロマ・ポリシー											備考	
経済学部経済学科ディプロマ・ポリシー			知識・理解		技能		思考・判断・表現				関心・意欲・態度				
科目区分	分野	時間割名	1	2-3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		13
<p>経済学部経済学科は、教育研究上の目的のもと、次に掲げるすべての能力(4領域14項目の能力)を備え、所定の単位を修得した学生に学位を授与する。</p> <p><知識・理解></p> <p>1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養)</p> <p>2. 経済学の基礎的な内容、方法、及び経済の仕組みについて理解している。(専門基礎に関する知識・理解)</p> <p>3. 選択したコース(産業経済・公共経済・情報経済・国際経済)ごとの専門知識及び方法について理解している。(専門領域に関する知識・理解)</p> <p>4. 本学が立地する「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解)</p> <p><技能></p> <p>5. 経済学の基礎及び専門領域に関する知識等を活用することにより、問題を発見し、それを解決するための方法を適切に選択することができる。(問題発見・解決力)</p> <p>6. 国際社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(国際協働力)</p> <p><思考・判断・表現></p> <p>7. 他者がもつ社会的・文化的背景を理解したうえで、自己を客体化して思考することができる。(多文化での共生)</p> <p>8. 倫理観と公平・公正の精神を持って、事象を判断することができる。(倫理観、公平・公正な判断)</p> <p>9. 経済学の専門知識・方法を活用し、経済的諸現象を論理的に分析し、客観的な見解を導くことができる。(経済学的思考・分析)</p> <p>10. 経済的諸問題についての分析や考察について、他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を論理的に説明し、発信することができる。(傾聴と発信)</p> <p><関心・意欲・態度></p> <p>11. 経済学的思考を基礎に、生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲)</p> <p>12. 経済学の知をもって、社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を有している。(社会参加への主体性)</p> <p>13. 経済学の豊富な知識と広い視野のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働)</p> <p>14. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)</p>			幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・解決力	国際協働力	多文化での共生	倫理観、公平・公正な判断	経済学的思考・分析	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性	チームワーク、他者との協働	建学の精神の実践、奉仕動機
			◎(当てはまる) ○(一部当てはまる)												
専門科目	経済	日本経済史Ⅰ	○	◎		○					○	◎	◎		
専門科目	経済	日本経済史Ⅱ	○	◎		○					○	◎	◎		
専門科目	経済	日本経済論Ⅰ	○	◎		◎					◎		○	○	
専門科目	経済	日本経済論Ⅱ	○	◎		◎					◎		○	○	
専門科目	経済	世界経済論Ⅰ	○	◎		◎			○	◎		○			
専門科目	経済	世界経済論Ⅱ	○	◎		◎			○	◎		○			
専門科目	経済	国際貿易論Ⅰ	○	◎		◎			○	◎		○			
専門科目	経済	国際貿易論Ⅱ	○	◎		◎			○	◎		○			
専門科目	経済	アメリカ経済論Ⅰ	○	◎		◎		◎	○	○					
専門科目	経済	アメリカ経済論Ⅱ	○	◎		◎		◎	○	○					
専門科目	経済	ヨーロッパ経済論Ⅰ	○	◎		◎		◎	○	○					
専門科目	経済	ヨーロッパ経済論Ⅱ	○	◎		◎		◎	○	○					
専門科目	経済	アジア経済論Ⅰ	○	◎		◎		◎	○	○					
専門科目	経済	アジア経済論Ⅱ	○	◎		◎		◎	○	○					
専門科目	経済	情報処理概論Ⅰ		◎		◎			○	◎	○	○			
専門科目	経済	情報処理概論Ⅱ		◎		◎			○	◎	○	○			
専門科目	経済	計量経済学Ⅰ	○	◎		○				◎	○	◎			
専門科目	経済	計量経済学Ⅱ	○	◎		○				◎	○	◎			
専門科目	経済	経済統計学Ⅰ		◎		◎			○	◎	○	○			
専門科目	経済	経済統計学Ⅱ		◎		◎			○	◎	○	○			
専門科目	経済	情報処理応用論Ⅰ	○	◎		◎				◎	○	○			
専門科目	経済	情報処理応用論Ⅱ	○	◎		◎				◎	○	○			
専門科目	経済	パソコン・データ解析ⅠA	○	◎		○				◎		◎	○		
専門科目	経済	パソコン・データ解析ⅠB	○	◎		○				◎		◎	○		
専門科目	経済	パソコン・データ解析ⅡA	○	◎		○				◎		◎	○		
専門科目	経済	パソコン・データ解析ⅡB	○	◎		○				◎		◎	○		

学位授与方針と各科目の関連(経済学部経済学科)			ディプロマ・ポリシー											備考	
経済学部経済学科ディプロマ・ポリシー			知識・理解		技能		思考・判断・表現				関心・意欲・態度				
科目区分	分野	時間割名	1	2-3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		13
<p>経済学部経済学科は、教育研究上の目的のもと、次に掲げるすべての能力(4領域14項目の能力)を備え、所定の単位を修得した学生に学位を授与する。</p> <p><知識・理解></p> <p>1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養)</p> <p>2. 経済学の基礎的な内容、方法、及び経済の仕組みについて理解している。(専門基礎に関する知識・理解)</p> <p>3. 選択したコース(産業経済・公共経済・情報経済・国際経済)ごとの専門知識及び方法について理解している。(専門領域に関する知識・理解)</p> <p>4. 本学が立地する「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解)</p> <p><技能></p> <p>5. 経済学の基礎及び専門領域に関する知識等を活用することにより、問題を発見し、それを解決するための方法を適切に選択することができる。(問題発見・解決力)</p> <p>6. 国際社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(国際協働力)</p> <p><思考・判断・表現></p> <p>7. 他者がもつ社会的・文化的背景を理解したうえで、自己を客体化して思考することができる。(多文化での共生)</p> <p>8. 倫理観と公平・公正の精神を持って、事象を判断することができる。(倫理観、公平・公正な判断)</p> <p>9. 経済学の専門知識・方法を活用し、経済的諸現象を論理的に分析し、客観的な見解を導くことができる。(経済学的思考・分析)</p> <p>10. 経済的諸問題についての分析や考察について、他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を論理的に説明し、発信することができる。(傾聴と発信)</p> <p><関心・意欲・態度></p> <p>11. 経済学的思考を基礎に、生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲)</p> <p>12. 経済学の知をもって、社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を有している。(社会参加への主体性)</p> <p>13. 経済学の豊富な知識と広い視野のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働)</p> <p>14. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)</p>			幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・解決力	国際協働力	多文化での共生	倫理観、公平・公正な判断	経済学的思考・分析	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性	チームワーク、他者との協働	建学の精神の実践、奉仕動機
			◎(当てはまる) ○(一部当てはまる)												
専門科目	経済	情報経済論Ⅰ		◎	○	◎				◎	○		○		
専門科目	経済	情報経済論Ⅱ		◎	○	◎				◎	○		○		
専門科目	経済	企業金融論Ⅰ	○	◎		◎			○	◎		○			
専門科目	経済	企業金融論Ⅱ	○	◎		◎			○	◎		○			
専門科目	経済	交通論Ⅰ		◎		○			○	◎		○	◎		
専門科目	経済	交通論Ⅱ		◎		○			○	◎		○	◎		
専門科目	経済	中国経済論	○	◎		◎		◎	○	○					
専門科目	経済	開発経済学Ⅰ	○	◎		◎		○	○	◎					
専門科目	経済	開発経済学Ⅱ	○	◎		◎		○	○	◎					
専門科目	経済	専門外国書講読ⅠA	○	◎		○		◎		◎	○				
専門科目	経済	専門外国書講読ⅠB	○	◎		○		◎		◎	○				
専門科目	経済	専門外国書講読ⅡA	○	◎		○		◎		◎	○				
専門科目	経済	専門外国書講読ⅡB	○	◎		○		◎		◎	○				
専門科目	経済	経済統計入門	○	◎		○			◎	◎		○			
専門科目	経済	再生産論	○	◎		◎			○	◎	○				
専門科目	経済	ヨーロッパ経済史	○	◎		○		○		◎	◎				
専門科目	経済	時系列解析	○	◎		◎			○	◎		○			2020年度休講
専門科目	経済	生産と分配の経済学史	○	◎		◎			○	◎	○				
専門科目	経済	ミクロ経済学の数理分析	○	◎		◎				◎	○	○			
専門科目	経済	日本経済史[都市]	○	◎		◎				○	◎	○			
専門科目	経済	少子社会の経済学		◎		◎			○	◎	○			○	
専門科目	経済	財政学入門	○	◎		○			◎	◎		○			
専門科目	経済	人口減少と都市経済		◎		◎			○	◎		○	○		2020年度休講
専門科目	経済	格差と公共政策		◎		◎			○	◎	○			○	
専門科目	経済	医療経済学	○	◎		◎			○	◎		○			
専門科目	経済	情報と経済活動		◎		◎		○		◎		○	○		

学位授与方針と各科目の関連(経済学部経済学科)			ディプロマ・ポリシー											備考	
経済学部経済学科ディプロマ・ポリシー			知識・理解		技能		思考・判断・表現				関心・意欲・態度				
科目区分	分野	時間割名	1	2-3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		13
<p>経済学部経済学科は、教育研究上の目的のもと、次に掲げるすべての能力(4領域14項目の能力)を備え、所定の単位を修得した学生に学位を授与する。</p> <p><知識・理解></p> <p>1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養)</p> <p>2. 経済学の基礎的な内容、方法、及び経済の仕組みについて理解している。(専門基礎に関する知識・理解)</p> <p>3. 選択したコース(産業経済・公共経済・情報経済・国際経済)ごとの専門知識及び方法について理解している。(専門領域に関する知識・理解)</p> <p>4. 本学が立地する「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解)</p> <p><技能></p> <p>5. 経済学の基礎及び専門領域に関する知識等を活用することにより、問題を発見し、それを解決するための方法を適切に選択することができる。(問題発見・解決力)</p> <p>6. 国際社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(国際協働力)</p> <p><思考・判断・表現></p> <p>7. 他者がもつ社会的・文化的背景を理解したうえで、自己を客体化して思考することができる。(多文化での共生)</p> <p>8. 倫理観と公平・公正の精神を持って、事象を判断することができる。(倫理観、公平・公正な判断)</p> <p>9. 経済学の専門知識・方法を活用し、経済的諸現象を論理的に分析し、客観的な見解を導くことができる。(経済学的思考・分析)</p> <p>10. 経済的諸問題についての分析や考察について、他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を論理的に説明し、発信することができる。(傾聴と発信)</p> <p><関心・意欲・態度></p> <p>11. 経済学的思考を基礎に、生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲)</p> <p>12. 経済学の知をもって、社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を有している。(社会参加への主体性)</p> <p>13. 経済学の豊富な知識と広い視野のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働)</p> <p>14. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)</p>			幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・解決力	国際協働力	多文化での共生	倫理観、公平・公正な判断	経済学的思考・分析	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性	チームワーク、他者との協働	建学の精神の実践、奉仕動機
			◎(当てはまる) ○(一部当てはまる)												
専門	経営	簿記ⅡD	○	◎		◎				◎		○			
専門	経営	簿記ⅡE	○	◎		◎				◎		○			
専門	経営	インターネットプログラミングA	○	◎					◎	◎		○	○		
専門	経営	インターネットプログラミングB	○	◎					◎	◎		○	○		
専門	経営	インターネットプログラミングC	○	◎					◎	◎		○	○		
専門	経営	EXCELプログラミング		◎		◎				○					2020年度廃止
専門	経営	現代流通ⅠA		◎	◎	○				◎	○	○			
専門	経営	現代流通ⅠB		◎	◎	○				◎	○	○			
専門	経営	現代流通ⅡA		◎	◎	○				◎	○	○			
専門	経営	現代流通ⅡB		◎	◎	○				◎	○	○			
専門	経営	経営管理ⅠA		◎		○				◎			○		
専門	経営	経営管理ⅠB		◎		○				◎			○		
専門	経営	経営管理ⅠC		◎		○				◎			○		
専門	経営	経営管理ⅡA		○		◎			○	◎				○	
専門	経営	経営管理ⅡB		○		◎			○	◎				○	
専門	経営	会計ⅠA	◎	◎	○		○		○	◎					
専門	経営	会計ⅠB	◎	◎	○		○		○	◎					
専門	経営	会計Ⅱ	◎	◎	○		○		○	◎					
専門	経営	コンピュータとインターネットⅠA	○	◎				○	◎	◎			○		
専門	経営	コンピュータとインターネットⅠB	○	◎				○	◎	◎			○		
専門	経営	コンピュータとインターネットⅠC	○	◎				○	◎	◎			○		
専門	経営	コンピュータとインターネットⅡA	○	◎				○	◎	◎			○		
専門	経営	コンピュータとインターネットⅡB	○	◎				○	◎	◎			○		
専門	経営	コンピュータとインターネットⅡC	○	◎				○	◎	◎			○		
専門	経営	マーケティングⅠA	○	◎		○			○	◎		◎			
専門	経営	マーケティングⅠB	○	◎		○			○	◎		◎			

学位授与方針と各科目の関連(経済学部経済学科)			ディプロマ・ポリシー											備考	
経済学部経済学科ディプロマ・ポリシー			知識・理解		技能		思考・判断・表現				関心・意欲・態度				
科目区分	分野	時間割名	1	2-3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		13
<p>経済学部経済学科は、教育研究上の目的のもと、次に掲げるすべての能力(4領域14項目の能力)を備え、所定の単位を修得した学生に学位を授与する。</p> <p><知識・理解></p> <p>1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養)</p> <p>2. 経済学の基礎的な内容、方法、及び経済の仕組みについて理解している。(専門基礎に関する知識・理解)</p> <p>3. 選択したコース(産業経済・公共経済・情報経済・国際経済)ごとの専門知識及び方法について理解している。(専門領域に関する知識・理解)</p> <p>4. 本学が立地する「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解)</p> <p><技能></p> <p>5. 経済学の基礎及び専門領域に関する知識等を活用することにより、問題を発見し、それを解決するための方法を適切に選択することができる。(問題発見・解決力)</p> <p>6. 国際社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(国際協働力)</p> <p><思考・判断・表現></p> <p>7. 他者がもつ社会的・文化的背景を理解したうえで、自己を客体化して思考することができる。(多文化での共生)</p> <p>8. 倫理観と公平・公正の精神を持って、事象を判断することができる。(倫理観、公平・公正な判断)</p> <p>9. 経済学の専門知識・方法を活用し、経済的諸現象を論理的に分析し、客観的な見解を導くことができる。(経済学的思考・分析)</p> <p>10. 経済的諸問題についての分析や考察について、他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を論理的に説明し、発信することができる。(傾聴と発信)</p> <p><関心・意欲・態度></p> <p>11. 経済学的思考を基礎に、生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲)</p> <p>12. 経済学の知をもって、社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を有している。(社会参加への主体性)</p> <p>13. 経済学の豊富な知識と広い視野のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働)</p> <p>14. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)</p>			幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・解決力	国際協働力	多文化での共生	倫理観、公平・公正な判断	経済学的思考・分析	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性	チームワーク、他者との協働	建学の精神の実践、奉仕動機
			◎(当てはまる) ○(一部当てはまる)												
専門	経営	マーケティングⅡA	○	◎		○			○	◎		◎			
専門	経営	マーケティングⅡB	○	◎		○			○	◎		◎			
専門	経営	神奈川の中小企業	○	◎	○	◎				◎	○				
専門	経営	Japan Studies(経営)		◎		○	◎	○		◎				○	
専門	経営	経営史ⅠA	◎	◎		◎			○	○				○	
専門	経営	経営史ⅠB	◎	◎		◎			○	○				○	
専門	経営	経営史Ⅱ	◎	◎		◎			○	○				○	
専門	経営	経営組織	○	◎		◎			○	◎				○	
専門	経営	組織とイノベーション	○	◎		◎			○	◎				○	
専門	経営	人的資源管理		◎		○			○	◎			○		
専門	経営	人的資源管理Ⅱ		◎		○			○	◎			○		2020年度廃止
専門	経営	財務会計基礎Ⅰ	○	◎		○				◎		○			
専門	経営	財務会計基礎Ⅱ	○	◎		○				◎		○		○	
専門	経営	財務会計応用Ⅰ	○	◎		○				◎		○			
専門	経営	財務会計応用Ⅱ	○	◎		○				◎		○			
専門	経営	原価計算基礎		◎		◎				○					
専門	経営	原価計算応用		◎		◎				○					
専門	経営	流通システムⅠA		◎	○	◎				◎	○	○			
専門	経営	流通システムⅠB		◎	○	◎				◎	○	○			
専門	経営	流通システムⅡ		◎	○	◎				◎	○	○			
専門	経営	現代トップマネジメントⅠ		◎		◎			○	◎		○	○		
専門	経営	現代トップマネジメントⅡ		◎		◎			○	◎		○	○		
専門科目	経営	国際経営A		◎			○	◎	○	◎		○			
専門科目	経営	国際経営B		◎			○	◎	○	◎		○			
専門科目	経営	国際経営論Ⅱ		◎			○	◎	○	◎		○			2020年度廃止
専門科目	経営	経営戦略	○	◎		◎			○	◎	○				

学位授与方針と各科目の関連(経済学部経済学科)			ディプロマ・ポリシー											備考	
経済学部経済学科ディプロマ・ポリシー			知識・理解		技能		思考・判断・表現				関心・意欲・態度				
科目区分	分野	時間割名	1	2-3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		13
<p>経済学部経済学科は、教育研究上の目的のもと、次に掲げるすべての能力(4領域14項目の能力)を備え、所定の単位を修得した学生に学位を授与する。</p> <p><知識・理解> 1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養) 2. 経済学の基礎的な内容、方法、及び経済の仕組みについて理解している。(専門基礎に関する知識・理解) 3. 選択したコース(産業経済・公共経済・情報経済・国際経済)ごとの専門知識及び方法について理解している。(専門領域に関する知識・理解) 4. 本学が立地する「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解)</p> <p><技能> 5. 経済学の基礎及び専門領域に関する知識等を活用することにより、問題を発見し、それを解決するための方法を適切に選択することができる。(問題発見・解決力) 6. 国際社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(国際協働力)</p> <p><思考・判断・表現> 7. 他者がもつ社会的・文化的背景を理解したうえで、自己を客体化して思考することができる。(多文化での共生) 8. 倫理観と公平・公正の精神を持って、事象を判断することができる。(倫理観、公平・公正な判断) 9. 経済学の専門知識・方法を活用し、経済的諸現象を論理的に分析し、客観的な見解を導くことができる。(経済学的思考・分析) 10. 経済的諸問題についての分析や考察について、他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を論理的に説明し、発信することができる。(傾聴と発信)</p> <p><関心・意欲・態度> 11. 経済学的思考を基礎に、生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲) 12. 経済学の知をもって、社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を有している。(社会参加への主体性) 13. 経済学の豊富な知識と広い視野のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働) 14. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)</p>			幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・解決力	国際協働力	多文化での共生	倫理観、公平・公正な判断	経済学的思考・分析	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性	チームワーク、他者との協働	建学の精神の実践、奉仕動機
			◎(当てはまる) ○(一部当てはまる)												
専門科目	経営	戦略とイノベーション	○	◎		◎			○	◎	○				
専門科目	経営	生産システム		◎		◎		○		◎		○		○	
専門科目	経営	簿記検定(2級)A	○	◎		◎				◎		◎			
専門科目	経営	簿記検定(2級)B	○	◎		◎				◎		◎			
専門科目	経営	簿記および演習Ⅰ		◎		◎				◎					
専門科目	経営	簿記および演習Ⅱ	○	◎		○				◎		○			
専門科目	経営	簿記上級		◎		◎				◎		○			
専門科目	経営	ベンチャービジネスⅠ		◎		◎				◎		○	○		
専門科目	経営	ベンチャービジネスⅡ		◎		◎				◎		○	○		
専門科目	経営	経営財務	○	◎		◎			○	◎		○			
専門科目	経営	管理会計		◎		◎				◎					
専門科目	経営	意思決定会計		◎		◎			○	◎					
専門科目	経営	経営分析Ⅰ	○	◎		◎			○	◎		○			
専門科目	経営	経営分析Ⅱ	○	◎		◎			○	◎		○			
専門科目	経営	アジア経営論		◎		○	◎	◎		○					2020年度廃止
専門科目	経営	マーケティングリサーチ	○	◎		○				◎	○	○			
専門科目	経営	サービス・マーケティングⅠ	○	◎		○			○	◎		◎			
専門科目	経営	サービス・マーケティングⅡ	○	◎		○			○	◎		◎			
専門科目	経営	行政マネジメント		◎	◎	○		○	○				◎		
専門科目	経営	NPOマネジメント		◎	○		◎	◎	○				○		
専門科目	経営	スポーツ・マネジメント	○	◎	○					◎		○	◎		
専門科目	経営	経営心理学Ⅰ		◎		◎			○	◎			○		2020年度廃止
専門科目	経営	経営心理学Ⅱ		◎		◎			○	◎			○		2020年度廃止
専門科目	経営	多国籍企業論		◎		○	◎			○					2020年度廃止
専門科目	経営	経営倫理		◎		○		○	◎	◎					○
専門科目	経営	医療・福祉のマネジメント		◎					○	◎		◎	○	○	

学位授与方針と各科目の関連(経済学部経済学科)			ディプロマ・ポリシー											備考	
経済学部経済学科ディプロマ・ポリシー			知識・理解		技能		思考・判断・表現				関心・意欲・態度				
経済学部経済学科は、教育研究上の目的のもと、次に掲げるすべての能力(4領域14項目の能力)を備え、所定の単位を修得した学生に学位を授与する。			1	2-3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
<p><知識・理解></p> <p>1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養)</p> <p>2. 経済学の基礎的な内容、方法、及び経済の仕組みについて理解している。(専門基礎に関する知識・理解)</p> <p>3. 選択したコース(産業経済・公共経済・情報経済・国際経済)ごとの専門知識及び方法について理解している。(専門領域に関する知識・理解)</p> <p>4. 本学が立地する「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解)</p> <p><技能></p> <p>5. 経済学の基礎及び専門領域に関する知識等を活用することにより、問題を発見し、それを解決するための方法を適切に選択することができる。(問題発見・解決力)</p> <p>6. 国際社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(国際協働力)</p> <p><思考・判断・表現></p> <p>7. 他者がもつ社会的・文化的背景を理解したうえで、自己を客体化して思考することができる。(多文化での共生)</p> <p>8. 倫理観と公平・公正の精神を持って、事象を判断することができる。(倫理観、公平・公正な判断)</p> <p>9. 経済学の専門知識・方法を活用し、経済的諸現象を論理的に分析し、客観的な見解を導くことができる。(経済学的思考・分析)</p> <p>10. 経済的諸問題についての分析や考察について、他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を論理的に説明し、発信することができる。(傾聴と発信)</p> <p><関心・意欲・態度></p> <p>11. 経済学的思考を基礎に、生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲)</p> <p>12. 経済学の知をもって、社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を有している。(社会参加への主体性)</p> <p>13. 経済学の豊富な知識と広い視野のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働)</p> <p>14. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)</p>			幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・解決力	国際協働力	多文化での共生	倫理観、公平・公正な判断	経済学的思考・分析	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性	チームワーク、他者との協働	建学の精神の実践、奉仕動機
科目区分	分野	時間割名	◎(当てはまる) ○(一部当てはまる)												
専門科目	経営	サービス経営Ⅰ	○	◎	○	◎				◎				○	
専門科目	経営	サービス経営Ⅱ	○	◎	○	◎				◎				○	
専門科目	経営	ホスピタリティ・マネジメント	○	◎		○				◎		○		◎	
専門科目	経営	交通サービス	○	◎	○	○			◎	◎					
専門科目	経営	現代ツーリズム[観光]Ⅰ	○	◎	◎	◎		○							○
専門科目	経営	現代ツーリズム[観光]Ⅱ	○	◎		◎				◎			○		○
専門科目	経営	経営情報システムⅠA	◎	○		◎				◎			○	○	
専門科目	経営	経営情報システムⅠB	◎	○		◎				◎			○	○	
専門科目	経営	経営情報システムⅡ	◎	○		◎				◎			○	○	
専門科目	経営	情報ネットワーク		◎		○			◎	◎	○		○		
専門科目	経営	インターネット応用プログラミング		◎		◎				○					2020年度廃止
専門科目	経営	経営科学		○		◎				○					
専門科目	経営	経営シミュレーション		○		○				◎	◎		○	◎	
専門科目	経営	システム設計論		◎		○				○					2020年度廃止
専門科目	経営	システム運用論		◎		○				○					2020年度廃止
専門科目	経営	データベース	○	◎				○	◎	◎			○		
専門科目	経営	EXCEL応用プログラミング		◎		○				○					2020年度廃止
専門科目	経営	国際マーケティングⅠA		◎		○	○	◎		◎			○		
専門科目	経営	国際マーケティングⅠB		◎		○	○	◎		◎			○		
専門科目	経営	国際マーケティングⅡ		◎		○	○	◎		◎			○		
専門科目	経営	ダイレクトマーケティングⅠ		◎	○	◎	○	◎		○					
専門科目	経営	ダイレクトマーケティングⅡ		◎	○	◎	○	◎		○					
専門科目	経営	小売経営Ⅰ		◎	◎	○			○	◎	○				
専門科目	経営	小売経営Ⅱ		◎	◎	○			○	◎	○				
専門科目	経営	消費者行動ⅠA	○	◎		○				◎	◎	○			
専門科目	経営	消費者行動ⅠB	○	◎		○				◎	◎	○			

学位授与方針と各科目の関連(経済学部経済学科)			ディプロマ・ポリシー											備考		
経済学部経済学科ディプロマ・ポリシー 経済学部経済学科は、教育研究上の目的のもと、次に掲げるすべての能力(4領域14項目の能力)を備え、所定の単位を修得した学生に学位を授与する。 <知識・理解> 1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養) 2. 経済学の基礎的な内容、方法、及び経済の仕組みについて理解している。(専門基礎に関する知識・理解) 3. 選択したコース(産業経済・公共経済・情報経済・国際経済)ごとの専門知識及び方法について理解している。(専門領域に関する知識・理解) 4. 本学が立地する「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解) <技能> 5. 経済学の基礎及び専門領域に関する知識等を活用することにより、問題を発見し、それを解決するための方法を適切に選択することができる。(問題発見・解決力) 6. 国際社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(国際協働力) <思考・判断・表現> 7. 他者をもつ社会的・文化的背景を理解したうえで、自己を客体化して思考することができる。(多文化での共生) 8. 倫理観と公平・公正の精神を持って、事象を判断することができる。(倫理観、公平・公正な判断) 9. 経済学の専門知識・方法を活用し、経済的諸現象を論理的に分析し、客観的な見解を導くことができる。(経済学的思考・分析) 10. 経済的諸問題についての分析や考察について、他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を論理的に説明し、発信することができる。(傾聴と発信) <関心・意欲・態度> 11. 経済学的思考を基礎に、生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲) 12. 経済学の知をもって、社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を有している。(社会参加への主体性) 13. 経済学の豊富な知識と広い視野のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働) 14. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)			知識・理解		技能		思考・判断・表現				関心・意欲・態度					
			1	2-3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		13	14
			幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・解決力	国際協働力	多文化での共生	倫理観、公平・公正な判断	経済学的思考・分析	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性	チームワーク、他者との協働	建学の精神の実践、奉仕動機	
			◎(当てはまる) ○(一部当てはまる)													
専門科目	経営	消費者行動Ⅱ	○	◎		○				◎	◎	○				
専門科目	経営	リスクマネジメント		○		◎				○	◎					2020年度廃止
専門科目	経営	マーケティング・コミュニケーション[広告]Ⅰ	○	◎	○	◎			○	◎						
専門科目	経営	マーケティング・コミュニケーション[広告]Ⅱ	○	◎	○	◎			○	◎						
専門科目	経営	ブランド・マネジメント	○	◎		◎		○	○	◎						
専門科目	経営	ロジスティックス	○	◎	○	○				◎						2020年度廃止
専門科目	経営	ビッグデータ	○	◎		○				◎		○				2020年度廃止
専門科目	経営	事業革新と事業計画		◎		◎				◎	○		○	○		
専門科目	経営	消費生活と消費者問題	○			◎			○		◎	◎	○			
専門科目	経営	資本市場の役割と証券投資	○	◎		○				◎		◎	○			
専門科目	経営	中小企業後継者育成実践講座		◎	○	◎			○	◎	○					
専門科目	経営	グローバル・ビジネスの実際		◎		○		◎		◎		○	○			
専門科目	経営	e-ビジネス事情	○	◎		○	○			◎		○	○			2020年度廃止
専門科目	経営	プレゼンテーションスキル	◎	○							◎	○	○	◎		
専門科目	経営	資料・データ分析スキル	◎	○		◎			○		◎	○				
専門科目	経営	コンサルティング		◎	○	◎				◎		○	○			
専門科目	経営	ビジネスプランⅢ		◎		◎				◎						
専門科目	経営	株式投資学習ゲーム		◎		○				◎		○	○	◎		
専門科目	経営	資格取得講座[中小企業診断士]Ⅰ		◎		○				◎		○				2020年度廃止
専門科目	経営	資格取得講座[中小企業診断士]Ⅱ		◎		○				◎		○				2020年度廃止
専門科目	経営	証券アナリストⅠ	○	◎		◎			○	◎		○				
専門科目	経営	証券アナリストⅡ	○	◎		◎			○	◎		○				
専門科目	経営	ファイナンシャルプランナーⅠ	○	◎		○				◎		◎	○			
専門科目	経営	ファイナンシャルプランナーⅡ	○	◎		○				◎		◎	○			
専門科目	経営	ITパスポートⅠ	○	◎					◎	◎		○	○			
専門科目	経営	ITパスポートⅡ	○	◎					◎	◎		○	○			

学位授与方針と各科目の関連(経済学部経済学科)			ディプロマ・ポリシー											備考		
経済学部経済学科ディプロマ・ポリシー			知識・理解		技能		思考・判断・表現				関心・意欲・態度					
科目区分	分野	時間割名	1	2-3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		13	14
<p>経済学部経済学科は、教育研究上の目的のもと、次に掲げるすべての能力(4領域14項目の能力)を備え、所定の単位を修得した学生に学位を授与する。</p> <p><知識・理解></p> <p>1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養)</p> <p>2. 経済学の基礎的な内容、方法、及び経済の仕組みについて理解している。(専門基礎に関する知識・理解)</p> <p>3. 選択したコース(産業経済・公共経済・情報経済・国際経済)ごとの専門知識及び方法について理解している。(専門領域に関する知識・理解)</p> <p>4. 本学が立地する「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解)</p> <p><技能></p> <p>5. 経済学の基礎及び専門領域に関する知識等を活用することにより、問題を発見し、それを解決するための方法を適切に選択することができる。(問題発見・解決力)</p> <p>6. 国際社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(国際協働力)</p> <p><思考・判断・表現></p> <p>7. 他者をもつ社会的・文化的背景を理解したうえで、自己を客体化して思考することができる。(多文化での共生)</p> <p>8. 倫理観と公平・公正の精神を持って、事象を判断することができる。(倫理観、公平・公正な判断)</p> <p>9. 経済学の専門知識・方法を活用し、経済的諸現象を論理的に分析し、客観的な見解を導くことができる。(経済学的思考・分析)</p> <p>10. 経済的諸問題についての分析や考察について、他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を論理的に説明し、発信することができる。(傾聴と発信)</p> <p><関心・意欲・態度></p> <p>11. 経済学的思考を基礎に、生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲)</p> <p>12. 経済学の知をもって、社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を有している。(社会参加への主体性)</p> <p>13. 経済学の豊富な知識と広い視野のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働)</p> <p>14. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)</p>			幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・解決力	国際協働力	多文化での共生	倫理観、公平・公正な判断	経済学的思考・分析	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性	チームワーク、他者との協働	建学の精神の実践、奉仕動機	
			◎(当てはまる) ○(一部当てはまる)													
専門科目	経営	旅行業務取扱管理者	○	◎	○			○				◎			◎	
専門科目	経営	販売士Ⅰ		◎	○	◎				◎	○	○				
専門科目	経営	販売士Ⅱ		◎	○	◎				◎	○	○				
専門科目	経営	パソコン実習[ビジネスソフト]A	○	◎					◎	◎	○	○				
専門科目	経営	パソコン実習[ビジネスソフト]B	○	◎					◎	◎	○	○				
専門科目	経営	パソコン実習[ビジネスソフト]C	○	◎					◎	◎	○	○				
専門科目	経済	プレゼминаール		○		◎					○	◎		◎		
専門科目	ゼミナール(共通)	ゼミナールⅠ	○	○		◎					◎		○	◎	○	伊藤 明己
専門科目	ゼミナール(共通)	ゼミナールⅡ	○	○		◎					◎		○	◎	○	伊藤 明己
専門科目	ゼミナール(共通)	ゼミナールⅢ	○	○		◎					◎		○	◎	○	伊藤 明己
専門科目	ゼミナール(共通)	ゼミナールⅣ	○	○		◎					◎		○	◎	○	伊藤 明己
専門科目	ゼミナール(共通)	ゼミナールⅤ	○	○		◎					◎		○	◎	○	伊藤 明己
専門科目	ゼミナール(共通)	ゼミナールⅠ	◎	◎	◎	○		○				○				河内 春人
専門科目	ゼミナール(共通)	ゼミナールⅡ	◎	◎	◎	○		○				○				河内 春人
専門科目	ゼミナール(共通)	ゼミナールⅢ	◎	◎	◎	○		○				○				河内 春人
専門科目	ゼミナール(共通)	ゼミナールⅣ	◎	◎		◎		○		○	○					河内 春人
専門科目	ゼミナール(共通)	ゼミナールⅤ	◎	◎		◎		○		○	○					河内 春人
専門科目	ゼミナール(共通)	ゼミナールⅠ	◎	○		◎	○				◎			○		青柳 健隆
専門科目	ゼミナール(共通)	ゼミナールⅡ	◎	○		◎	○				◎			○		青柳 健隆
専門科目	ゼミナール(共通)	ゼミナールⅢ	◎	○		◎	○				◎			○		青柳 健隆
専門科目	ゼミナール(共通)	ゼミナールⅣ	◎	○		◎	○				◎			○		青柳 健隆
専門科目	ゼミナール(共通)	ゼミナールⅤ	◎	○		◎	○				◎			○		青柳 健隆
専門科目	ゼミナール(共通)	ゼミナールⅠ	◎		◎	◎		○				○	○			齋藤 仁
専門科目	ゼミナール(共通)	ゼミナールⅡ		○	◎	◎		○				○	◎			齋藤 仁
専門科目	ゼミナール(共通)	ゼミナールⅢ		○	◎	◎		○				○	◎			齋藤 仁
専門科目	ゼミナール(共通)	ゼミナールⅣ		○	◎	◎		○				○	◎			齋藤 仁

学位授与方針と各科目の関連(経済学部経済学科)			ディプロマ・ポリシー											備考			
経済学部経済学科ディプロマ・ポリシー 経済学部経済学科は、教育研究上の目的のもと、次に掲げるすべての能力(4領域14項目の能力)を備え、所定の単位を修得した学生に学位を授与する。 <知識・理解> 1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養) 2. 経済学の基礎的な内容、方法、及び経済の仕組みについて理解している。(専門基礎に関する知識・理解) 3. 選択したコース(産業経済・公共経済・情報経済・国際経済)ごとの専門知識及び方法について理解している。(専門領域に関する知識・理解) 4. 本学が立地する「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解) <技能> 5. 経済学の基礎及び専門領域に関する知識等を活用することにより、問題を発見し、それを解決するための方法を適切に選択することができる。(問題発見・解決力) 6. 国際社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(国際協働力) <思考・判断・表現> 7. 他者をもつ社会的・文化的背景を理解したうえで、自己を客体化して思考することができる。(多文化での共生) 8. 倫理観と公平・公正の精神を持って、事象を判断することができる。(倫理観、公平・公正な判断) 9. 経済学の専門知識・方法を活用し、経済的諸現象を論理的に分析し、客観的な見解を導くことができる。(経済学的思考・分析) 10. 経済的諸問題についての分析や考察について、他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を論理的に説明し、発信することができる。(傾聴と発信) <関心・意欲・態度> 11. 経済学的思考を基礎に、生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲) 12. 経済学の知をもって、社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を有している。(社会参加への主体性) 13. 経済学の豊富な知識と広い視野のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働) 14. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)			知識・理解		技能		思考・判断・表現				関心・意欲・態度						
			1	2-3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		13	14	
			幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・解決力	国際協働力	多文化での共生	倫理観、公平・公正な判断	経済学的思考・分析	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性	チームワーク、他者との協働	建学の精神の実践、奉仕動機		
科目区分	分野	時間割名	◎(当てはまる) ○(一部当てはまる)														
専門科目	ゼミナール(共通)	ゼミナールⅤ		○	◎	◎			○				○		◎		齋藤 仁
専門科目	ゼミナール(共通)	ゼミナールⅣ	◎						◎				○	○	○	◎	橋本 健広
専門科目	ゼミナール(共通)	ゼミナールⅤ	◎						◎				○	○	○	◎	橋本 健広
専門科目	ゼミナール(共通)	ゼミナールⅠ	○			○			○		○	○		○			原田 祐貨
専門科目	ゼミナール(共通)	ゼミナールⅡ	◎			○			◎	○		○	○	○	○		原田 祐貨
専門科目	ゼミナール(共通)	ゼミナールⅢ	◎			○			◎	○		○	○	○	○		原田 祐貨
専門科目	ゼミナール(共通)	ゼミナールⅣ	◎			◎			◎	○		○					原田 祐貨
専門科目	ゼミナール(共通)	ゼミナールⅤ	◎			◎			◎	○		○					原田 祐貨
専門科目	ゼミナール(共通)	ゼミナールⅠ		◎		◎	○		◎				○		○		林 博史
専門科目	ゼミナール(共通)	ゼミナールⅡ		◎		◎	○		◎				○		○		林 博史
専門科目	ゼミナール(共通)	ゼミナールⅢ		◎		◎	○		◎				○		○		林 博史
専門科目	ゼミナール(共通)	ゼミナールⅣ		◎		◎	○		◎				○	○			林 博史
専門科目	ゼミナール(共通)	ゼミナールⅤ		◎		◎	○		◎				○	○			林 博史
専門科目	ゼミナール(共通)	ゼミナールⅠ		◎		◎	○		◎	○			○	◎	◎	○	細谷 早里
専門科目	ゼミナール(共通)	ゼミナールⅡ		◎		◎	○		◎	○			○	◎	◎	○	細谷 早里
専門科目	ゼミナール(共通)	ゼミナールⅢ		◎		◎	○		◎	○			○	◎	◎	○	細谷 早里
専門科目	ゼミナール(共通)	ゼミナールⅣ		◎		◎	○		◎	○			○	◎	◎	○	細谷 早里
専門科目	ゼミナール(共通)	ゼミナールⅤ		◎		◎	○		◎	○			○	◎	◎	○	細谷 早里
専門科目	ゼミナール(共通)	ゼミナールⅠ	◎	○	○	◎	○		◎	○			○		○		山下 里香
専門科目	ゼミナール(共通)	ゼミナールⅡ	◎	○	○	◎	○		◎	○			○		○		山下 里香
専門科目	ゼミナール(共通)	ゼミナールⅢ	◎	○	○	◎	○		◎	○			○		○		山下 里香
専門科目	ゼミナール(共通)	ゼミナールⅣ	◎	○	○	◎	○		◎	○			○		○		山下 里香
専門科目	ゼミナール(共通)	ゼミナールⅤ	◎	○	○	◎	○		◎	○			○		○		山下 里香
専門科目	ゼミナール(共通)	ゼミナールⅠ	◎		○		◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎			荊 紅滄
専門科目	ゼミナール(共通)	ゼミナールⅡ	◎	◎			◎	◎		◎	○				◎		荊 紅滄
専門科目	ゼミナール(共通)	ゼミナールⅢ	◎	◎			◎	◎		◎	○				◎		荊 紅滄

学位授与方針と各科目の関連(経済学部経済学科)			ディプロマ・ポリシー											備考		
経済学部経済学科ディプロマ・ポリシー			知識・理解		技能		思考・判断・表現				関心・意欲・態度					
科目区分	分野	時間割名	1	2-3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		13	14
<p>経済学部経済学科は、教育研究上の目的のもと、次に掲げるすべての能力(4領域14項目の能力)を備え、所定の単位を修得した学生に学位を授与する。</p> <p><知識・理解> 1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養) 2. 経済学の基礎的な内容、方法、及び経済の仕組みについて理解している。(専門基礎に関する知識・理解) 3. 選択したコース(産業経済・公共経済・情報経済・国際経済)ごとの専門知識及び方法について理解している。(専門領域に関する知識・理解) 4. 本学が立地する「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解)</p> <p><技能> 5. 経済学の基礎及び専門領域に関する知識等を活用することにより、問題を発見し、それを解決するための方法を適切に選択することができる。(問題発見・解決力) 6. 国際社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(国際協働力)</p> <p><思考・判断・表現> 7. 他者がもつ社会的・文化的背景を理解したうえで、自己を客体化して思考することができる。(多文化での共生) 8. 倫理観と公平・公正の精神を持って、事象を判断することができる。(倫理観、公平・公正な判断) 9. 経済学の専門知識・方法を活用し、経済的諸現象を論理的に分析し、客観的な見解を導くことができる。(経済学的思考・分析) 10. 経済的諸問題についての分析や考察について、他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を論理的に説明し、発信することができる。(傾聴と発信)</p> <p><関心・意欲・態度> 11. 経済学的思考を基礎に、生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲) 12. 経済学の知をもって、社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を有している。(社会参加への主体性) 13. 経済学の豊富な知識と広い視野のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働) 14. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)</p>			幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・解決力	国際協働力	多文化での共生	倫理観、公平・公正な判断	経済学的思考・分析	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性	チームワーク、他者との協働	建学の精神の実践、奉仕動機	
			◎(当てはまる) ○(一部当てはまる)													
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅠ	◎	◎		○				○	◎	○				石井 穰
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅡ	◎	◎		○				○	◎	○				石井 穰
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅢ	◎	◎		○				○	◎	○				石井 穰
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅣ	◎	◎		○				○	◎	○				石井 穰
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅤ	◎	◎		○				○	◎	○				石井 穰
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅠ		◎		◎				◎	○	○		○		豊田 奈穂
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅡ		◎		◎				◎	○	○		○		豊田 奈穂
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅢ		◎		◎				◎	○	○		○		豊田 奈穂
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅣ		◎		◎				◎	○	○		○		豊田 奈穂
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅤ		◎		◎				◎	○	○		○		豊田 奈穂
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅠ	○	◎		○				◎	◎			○		上代 雄介
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅡ	○	◎		○				◎	◎			○		上代 雄介
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅢ	○	◎		◎				◎	○			○		上代 雄介
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅣ	○	◎		◎				◎	○			○		上代 雄介
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅤ	○	◎		◎				◎	○			○		上代 雄介
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅠ	○	○		○		◎			◎			◎		鴨野 洋一郎
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅡ	○	○		○		◎			◎			◎		鴨野 洋一郎
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅢ	○	○		○		◎			◎			◎		鴨野 洋一郎
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅣ	○	○		○		◎			◎			◎		鴨野 洋一郎
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅤ	○	○		○		◎			◎			◎		鴨野 洋一郎
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅠ	○			○			○		◎		◎	◎		吟谷 泰裕
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅡ	○			○			○		◎		◎	◎		吟谷 泰裕
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅢ		○		○				◎	◎	○		◎		吟谷 泰裕
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅣ	○			○			○		◎		◎	◎		吟谷 泰裕
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅤ		○		○				◎	◎	○		◎		吟谷 泰裕
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅠ	○	◎		◎			○	◎		○				黒川 洋行

学位授与方針と各科目の関連(経済学部経済学科)			ディプロマ・ポリシー											備考		
経済学部経済学科ディプロマ・ポリシー			知識・理解		技能		思考・判断・表現				関心・意欲・態度					
科目区分	分野	時間割名	1	2-3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		13	14
<p>経済学部経済学科は、教育研究上の目的のもと、次に掲げるすべての能力(4領域14項目の能力)を備え、所定の単位を修得した学生に学位を授与する。</p> <p><知識・理解></p> <p>1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養)</p> <p>2. 経済学の基礎的な内容、方法、及び経済の仕組みについて理解している。(専門基礎に関する知識・理解)</p> <p>3. 選択したコース(産業経済・公共経済・情報経済・国際経済)ごとの専門知識及び方法について理解している。(専門領域に関する知識・理解)</p> <p>4. 本学が立地する「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解)</p> <p><技能></p> <p>5. 経済学の基礎及び専門領域に関する知識等を活用することにより、問題を発見し、それを解決するための方法を適切に選択することができる。(問題発見・解決力)</p> <p>6. 国際社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(国際協働力)</p> <p><思考・判断・表現></p> <p>7. 他者をもつ社会的・文化的背景を理解したうえで、自己を客体化して思考することができる。(多文化での共生)</p> <p>8. 倫理観と公平・公正の精神を持って、事象を判断することができる。(倫理観、公平・公正な判断)</p> <p>9. 経済学の専門知識・方法を活用し、経済的諸現象を論理的に分析し、客観的な見解を導くことができる。(経済学的思考・分析)</p> <p>10. 経済的諸問題についての分析や考察について、他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を論理的に説明し、発信することができる。(傾聴と発信)</p> <p><関心・意欲・態度></p> <p>11. 経済学的思考を基礎に、生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲)</p> <p>12. 経済学の知をもって、社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を有している。(社会参加への主体性)</p> <p>13. 経済学の豊富な知識と広い視野のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働)</p> <p>14. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)</p>			幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・解決力	国際協働力	多文化での共生	倫理観、公平・公正な判断	経済学的思考・分析	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性	チームワーク、他者との協働	建学の精神の実践、奉仕動機	
			◎(当てはまる) ○(一部当てはまる)													
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅡ	○	◎		◎			○	◎		○				黒川 洋行
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅢ	○	◎		◎			○	◎		○				黒川 洋行
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅣ	○	◎		◎			○	◎		○				黒川 洋行
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅤ	○	◎		◎			○	◎		○				黒川 洋行
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅠ		○		◎				○	◎			◎	○	田中 聡一郎
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅡ		○		◎				○	◎			◎	○	田中 聡一郎
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅢ		○		◎				○	◎			◎	○	田中 聡一郎
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅣ		○		◎				○	◎			◎	○	田中 聡一郎
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅤ		○		◎				○	◎			◎	○	田中 聡一郎
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅠ	○	◎	○	◎				◎		○				本田 正美
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅡ	○	◎	○	◎				◎		○				本田 正美
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅢ	○	◎	○	◎				◎		○				本田 正美
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅣ	○	◎	○	◎				◎		○				本田 正美
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅤ	○	◎	○	◎				◎		○				本田 正美
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅡ			○	◎				◎		○	◎			神野 真敏
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅢ			○	◎				◎		○	◎			神野 真敏
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅣ			○	◎				◎		○	◎			神野 真敏
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅤ			○	◎				◎		○	◎			神野 真敏
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅠ		◎		◎				◎	○	○	○			名武 なつ紀
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅡ		◎		◎				◎	○	○	○			名武 なつ紀
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅢ		◎		◎				◎	○	○	○			名武 なつ紀
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅣ		◎		◎				◎	○	○	○			名武 なつ紀
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅤ		◎		◎				◎	○	○	○			名武 なつ紀
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅠ	○	◎	○	◎				◎			○			新岡 智
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅡ	○	◎	○	◎				◎			○			新岡 智
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅢ	○	◎	○	◎				◎			○			新岡 智

学位授与方針と各科目の関連(経済学部経済学科)			ディプロマ・ポリシー											備考		
経済学部経済学科ディプロマ・ポリシー			知識・理解		技能		思考・判断・表現				関心・意欲・態度					
科目区分	分野	時間割名	1	2-3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		13	14
<p>経済学部経済学科は、教育研究上の目的のもと、次に掲げるすべての能力(4領域14項目の能力)を備え、所定の単位を修得した学生に学位を授与する。</p> <p><知識・理解></p> <p>1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養)</p> <p>2. 経済学の基礎的な内容、方法、及び経済の仕組みについて理解している。(専門基礎に関する知識・理解)</p> <p>3. 選択したコース(産業経済・公共経済・情報経済・国際経済)ごとの専門知識及び方法について理解している。(専門領域に関する知識・理解)</p> <p>4. 本学が立地する「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解)</p> <p><技能></p> <p>5. 経済学の基礎及び専門領域に関する知識等を活用することにより、問題を発見し、それを解決するための方法を適切に選択することができる。(問題発見・解決力)</p> <p>6. 国際社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(国際協働力)</p> <p><思考・判断・表現></p> <p>7. 他者をもつ社会的・文化的背景を理解したうえで、自己を客体化して思考することができる。(多文化での共生)</p> <p>8. 倫理観と公平・公正の精神を持って、事象を判断することができる。(倫理観、公平・公正な判断)</p> <p>9. 経済学の専門知識・方法を活用し、経済的諸現象を論理的に分析し、客観的な見解を導くことができる。(経済学的思考・分析)</p> <p>10. 経済的諸問題についての分析や考察について、他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を論理的に説明し、発信することができる。(傾聴と発信)</p> <p><関心・意欲・態度></p> <p>11. 経済学的思考を基礎に、生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲)</p> <p>12. 経済学の知をもって、社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を有している。(社会参加への主体性)</p> <p>13. 経済学の豊富な知識と広い視野のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働)</p> <p>14. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)</p>			幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・解決力	国際協働力	多文化での共生	倫理観、公平・公正な判断	経済学的思考・分析	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性	チームワーク、他者との協働	建学の精神の実践、奉仕動機	
			◎(当てはまる) ○(一部当てはまる)													
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅣ	○	◎	○	◎				◎				○		新岡 智
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅤ	○	◎	○	◎				◎				○		新岡 智
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅠ		◎		◎				◎	○	○		○		野口 雄一
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅡ		◎		◎				◎	○	○		○		野口 雄一
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅢ		◎		◎				◎	○	○		○		野口 雄一
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅣ		◎		◎				◎	○	○		○		野口 雄一
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅤ		◎		◎				◎	○	○		○		野口 雄一
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅠ		○		◎				◎	○		○	◎		野中 康生
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅡ		○		◎				◎	○		○	◎		野中 康生
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅢ		○		◎				◎	○		○	◎		野中 康生
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅣ		○		◎				◎	○		○	◎		野中 康生
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅤ		○		◎				◎	○		○	◎		野中 康生
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅡ		◎		◎			○	◎	○	○				布能 英一郎
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅢ		◎		◎			○	◎	○	○				布能 英一郎
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅣ		◎		◎			○	◎	○	○				布能 英一郎
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅤ		◎		◎			○	◎	○	○				布能 英一郎
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅠ	○	◎	○	◎							○	◎		宮本 守
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅡ		◎	○	◎				◎		○	○			宮本 守
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅢ		◎	○	◎			○	◎		○				宮本 守
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅣ		◎	○	◎				◎		○	○			宮本 守
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅤ		◎	○	◎				◎		○	○			宮本 守
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅡ		◎		◎				○	○		○	◎		望月 正光
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅢ		◎		◎				○	○		○	◎		望月 正光
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅣ		◎		◎				○	○		○	◎		望月 正光
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅤ		◎		◎				○	○		○	◎		望月 正光
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅠ	○	◎		◎			○	◎	○					平野 敏弘

学位授与方針と各科目の関連(経済学部経済学科)			ディプロマ・ポリシー											備考		
経済学部経済学科ディプロマ・ポリシー			知識・理解		技能		思考・判断・表現				関心・意欲・態度					
科目区分	分野	時間割名	1	2-3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		13	14
<p>経済学部経済学科は、教育研究上の目的のもと、次に掲げるすべての能力(4領域14項目の能力)を備え、所定の単位を修得した学生に学位を授与する。</p> <p><知識・理解></p> <p>1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養)</p> <p>2. 経済学の基礎的な内容、方法、及び経済の仕組みについて理解している。(専門基礎に関する知識・理解)</p> <p>3. 選択したコース(産業経済・公共経済・情報経済・国際経済)ごとの専門知識及び方法について理解している。(専門領域に関する知識・理解)</p> <p>4. 本学が立地する「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解)</p> <p><技能></p> <p>5. 経済学の基礎及び専門領域に関する知識等を活用することにより、問題を発見し、それを解決するための方法を適切に選択することができる。(問題発見・解決力)</p> <p>6. 国際社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(国際協働力)</p> <p><思考・判断・表現></p> <p>7. 他者をもつ社会的・文化的背景を理解したうえで、自己を客体化して思考することができる。(多文化での共生)</p> <p>8. 倫理観と公平・公正の精神を持って、事象を判断することができる。(倫理観、公平・公正な判断)</p> <p>9. 経済学の専門知識・方法を活用し、経済的諸現象を論理的に分析し、客観的な見解を導くことができる。(経済学的思考・分析)</p> <p>10. 経済的諸問題についての分析や考察について、他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を論理的に説明し、発信することができる。(傾聴と発信)</p> <p><関心・意欲・態度></p> <p>11. 経済学的思考を基礎に、生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲)</p> <p>12. 経済学の知をもって、社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を有している。(社会参加への主体性)</p> <p>13. 経済学の豊富な知識と広い視野のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働)</p> <p>14. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)</p>			幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・解決力	国際協働力	多文化での共生	倫理観、公平・公正な判断	経済学的思考・分析	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性	チームワーク、他者との協働	建学の精神の実践、奉仕動機	
			◎(当てはまる) ○(一部当てはまる)													
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅡ	○	◎		◎			○	◎	○					平野 敏弘
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅢ	○	◎		◎			○	◎	○					平野 敏弘
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅣ	○	◎		◎			○	◎	○					平野 敏弘
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅤ	○	◎		◎			○	◎	○					平野 敏弘
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅠ		◎		◎				◎	○	○	○	○		谷野 勝明
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅡ		◎		◎				◎	○	○	○	○		谷野 勝明
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅢ		◎		◎				◎	○	○	○	○		谷野 勝明
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅣ		○		◎				◎	◎	○	○	○		谷野 勝明
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅤ		○		◎				◎	◎	○	○	○		谷野 勝明
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅠ		◎		○				◎	○	○	○	◎		山本 勝造
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅡ		◎		○				◎	○	○	○	◎		山本 勝造
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅢ		○		◎				◎	○	○	○	◎		山本 勝造
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅣ		○		◎				◎	○	○	○	◎		山本 勝造
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅤ		○		◎				◎	○	○	○	◎		山本 勝造
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅠ				◎	◎	◎		○	◎	○	○	◎		吉田 千鶴
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅡ				◎	◎	◎		○	◎	○	○	◎		吉田 千鶴
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅢ				◎	◎	◎		○	◎	○	○	◎		吉田 千鶴
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅣ				◎	◎	◎		○	◎	○	○	◎		吉田 千鶴
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅤ				◎	◎	◎		○	◎	○	○	◎		吉田 千鶴
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅠ				◎	◎	◎				○	○	○		石坂 貴美
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅡ				◎	◎	◎				○	○	○		石坂 貴美
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅢ				◎	◎	◎				○	○	○		石坂 貴美
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅣ				◎	◎	◎				○	○	○		石坂 貴美
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅤ				◎	◎	◎				○	○	○		石坂 貴美
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅠ	○	◎		◎				◎	○			○		今井 健太郎
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅡ	○	◎		◎				◎	○			○		今井 健太郎

学位授与方針と各科目の関連(経済学部経済学科)			ディプロマ・ポリシー											備考		
経済学部経済学科ディプロマ・ポリシー			知識・理解			技能		思考・判断・表現				関心・意欲・態度				
経済学部経済学科は、教育研究上の目的のもと、次に掲げるすべての能力(4領域14項目の能力)を備え、所定の単位を修得した学生に学位を授与する。			1	2-3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		13	14
科目区分	分野	時間割名	◎(当てはまる) ○(一部当てはまる)													
専門科目	ゼミナール(経済)	ゼミナールⅢ	○	◎		◎				◎	○			○		今井 健太郎

経済学部経済学科ディプロマ・ポリシー

経済学部経済学科は、教育研究上の目的のもと、次に掲げるすべての能力(4領域14項目の能力)を備え、所定の単位を修得した学生に学位を授与する。

<知識・理解>

- 自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養)
- 経済学の基礎的な内容、方法、及び経済の仕組みについて理解している。(専門基礎に関する知識・理解)
- 選択したコース(産業経済・公共経済・情報経済・国際経済)ごとの専門知識及び方法について理解している。(専門領域に関する知識・理解)
- 本学が立地する「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解)

<技能>

- 経済学の基礎及び専門領域に関する知識等を活用することにより、問題を発見し、それを解決するための方法を適切に選択することができる。(問題発見・解決力)
- 国際社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(国際協働力)

<思考・判断・表現>

- 他者がもつ社会的・文化的背景を理解したうえで、自己を客体化して思考することができる。(多文化での共生)
- 倫理観と公平・公正の精神を持って、事象を判断することができる。(倫理観、公平・公正な判断)
- 経済学の専門知識・方法を活用し、経済的諸現象を論理的に分析し、客観的な見解を導くことができる。(経済学的思考・分析)
- 経済的諸問題についての分析や考察について、他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を論理的に説明し、発信することができる。(傾聴と発信)

<関心・意欲・態度>

- 経済学的思考を基礎に、生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲)
- 経済学の知をもって、社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を有している。(社会参加への主体性)
- 経済学の豊富な知識と広い視野のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働)
- 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)

知識・理解			技能		思考・判断・表現				関心・意欲・態度			
1	2-3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・解決力	国際協働力	多文化での共生	倫理観、公平・公正な判断	経済学的思考・分析	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性	チームワーク、他者との協働	建学の精神の実践、奉仕動機

備考

今井 健太郎